杉並区 令和元年度協働提案事業(令和2年度～3年度実施事業)

障害分野と高齢分野の連携推進事業

障害分野と高齢分野の通所サービス向上に向けた実態調査

報告書

一般社団法人Ｇｅｎｙ

Ⅰ　調査の概要

【調査の背景】

　　障害の有無や性別、年齢、支援する側、される側といった垣根を超えて、お互いに尊重し合い、支え合いながら未来を築いていく「共生社会」の実現が目指されている。

　これまで、障害害者福祉と高齢者福祉は別々にサービスを整備してきたが、障害福祉の通所施設をご利用している方も65歳となった際に介護保険サービスをご利用されることも多くなることが予想される。現在においても、通所先を確保できない障害者の方もおり、また、選択できる通所介護の少なさや、高齢になることから従来の事業所のサービスで十分にニーズを充足できない状況もあるのではないだろうか。一方、現在、介護保険の通所サービスはリハビリテーションに特化したもの、充実した入浴サービスを提供するものなど、様々なニーズに対応できるものなど多くの事業所が存在している。こうした中、様々な生活の課題について、両分野の相互理解を深める中でどのような連携や協働ができるか検討していく必要性がある。

【調査の目的】

　杉並区に在住の身体障害者手帳等をお持ちの方、難病患者等及びその家族を対象に、通所サービスの利用に関すること及び生活の困りごとなどについての調査を行う。

【調査の方法】

　現在、通所型サービスを利用している利用者、及びその家族に対しては、杉並区にある、障害者総合支援法に基づく生活介護、就労継続支援B型の事業所を通じて配布した。通所型サービスを利用していない障害当事者、及びその家族に対しては杉並区保健福祉部障害者生活支援課を通じて対象者を抽出し、郵送にて実施した。

　調査は、令和2年6月1日～6月30日までの間に実施した。

【倫理的配慮】

以下の点について、文章で説明を行い、本調査への同意は、本調査票の記入返却をもって代えさせていたくこととした。

・アンケート調査にご協力いただけるかは任意であり、ご回答いただかないことで、社会的な不利益になることは一切ない

・回答いただいた情報を本調査の目的以外に使用することはない

・回答内容から、個人が特定されることのないようにする。

・各施設・事業所等が特定できる状態で公表されることは一切ない。

・記入返却された調査票は、結果の入力作業を行うが、その後は本研究の実施機関で厳重に保管し、外部に持ち出すことはない。本調査終了後は、裁断または溶解処理する。

・本調査の結果は、本事業を通してフォーラムや、報告書として公表されると共に、学術集会等に発表する。

【回収率】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調査対象 | 配布 | 回収（％） |
| 通所型サービスを利用している障害当事者 | 747 | 346（46.3） |
| 通所型サービスを利用している障害当事者の家族 | 747 | 314（42.0） |
| 通所型サービスを利用していない障害当事者 | 29 | 12（41.4） |
| 通所型サービスを利用していない障害当事者の家族 | 29 | 16（55.2） |

Ⅱ　結果

【通所サービスを利用している障害当事者調査】

１．回答者（SA）

調査対象者の回答者について尋ねたところ、61.8％が家族と回答した（表１　図１、表２））

表１　回答者（SA）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 本人 | 115 | 33.2 |
| 家族 | 214 | 61.8 |
| その他 | 10 | 2.9 |
| 欠損値 | 7 | 2.0 |
| 合計 | 346 | 100% |

図１　回答者

表２　その他の回答者

|  |
| --- |
| 世話人（２）、本人と家族、GH施設長、GH世話人 |

２．本人の年齢（SA）

本人の年齢は38.４％が30歳〜49歳と最も多い層となった（表３、図２、）

表３　回答者の年齢

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 18歳～29歳 | 98 | 28.3 |
| 30歳～49歳 | 133 | 38.4 |
| 50歳～64歳 | 78 | 22.5 |
| 65歳以上 | 28 | 8.1 |
| 欠損値 | 9 | 2.6 |
| 合計 | 346 | 100.0 |

図２　回答者の年齢

３．身体障害者手帳の所持

身体障害者手帳の所持に関して114人（32.９％）が所持していると回答した。

４．身体障害者手帳の等級

４）における、身体手帳所持者の、身体障害者手帳の等級は18.５％が１級と回答し、最も多い回答となった（表４図３）

表４　身体障害者手帳の級

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 1級 | 64 | 56.1 |
| 2級 | 24 | 21.1 |
| 3級 | 12 | 10.5 |
| 4級 | 2 | 1.8 |
| 5級 | 8 | 7.0 |
| 6級 | 2 | 1.8 |
| 欠損値 | 86 | 57.9 |
| 合計 | 114 | 100.0 |

図３　身体障害者手帳の等級

５．愛の手帳の所持

愛の手帳の所持に関して、261人（75.４％）が所持していると回答した。

愛の手帳の度数

愛の手帳の度数に関して、41.９％が２と回答した（表５、図４）

表５　愛の手帳の度数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 1度 | 11 | 4.2 |
| 2度 | 145 | 55.6 |
| 3度 | 71 | 27.2 |
| 4度 | 30 | 11.5 |
| 欠損値 | 4 | 1.5 |
| 合計 | 261 | 1.1 |

図４　愛の手帳の度数

６．精神保健福祉手帳の所持

精神保健手帳の所持に関して、40人（11.６％）が所持していると回答した。

７．精神保健福祉手帳の等級

精神保健福祉手帳の所持者の級に関して、7.５％が２と回答し、最も多い項目となった（表６　図５）

表６　精神保健福祉手帳の等級

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 1級 | 3 | 7.5 |
| 2級 | 26 | 65.0 |
| 3級 | 9 | 22.5 |
| 欠損値 | 2 | 5.0 |
| 合計 | 40 | 100.0 |

図５　精神保健福祉手帳の等級

８．主な障害または疾患名（MA）

調査対象者に対して行った障害または疾患名に関して25.6％が肢体不自由と回答した（表7、図６、表８）

表７　主な障害または疾患名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 視覚障害 | 8 | 7.0 |
| 聴覚障害・平衡機能障害 | 3 | 2.6 |
| 音声・言語・そしゃく機能障害 | 1 | 0.9 |
| 肢体不自由 | 89 | 78.1 |
| 内部障害 | 3 | 2.6 |
| 難病 | 2 | 1.8 |
| その他 | 17 | 14.9 |

図６　主な障害または疾患名

表８　その他の障害または疾患名

|  |
| --- |
| カナバン病  ダウン症  広範脊柱管狭窄症  骨折による左足関節  疾患による、両上肢  疾患による四肢体幹  疾病による下肢機能  手  上肢機能・下肢機能  心身障害者  心臓  精神障害（２）  体幹機能障害  体肝機能障害  知的障害  統合失調症（２）  脳性麻痺による体幹  発達障害（自閉症） |

９．障害年金の受給の有無（SA）

障害年金の受給に関して、285人（82.４％）が受給していると回答した（表９　図７）

表９　障害年金の受給の有無

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 受けている | 285 | 82.4 |
| 受けていない | 42 | 12.1 |
| 欠損値 | 19 | 12.1 |
| 合計 | 346 | 100.0 |

図７　障害年金の受給の有無

１０．障害年金の等級（SA）

障害年金受給者のうち、154人（５４．０％）が1級であると回答した（表10、図8）

表10　障害年金の等級

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 1級 | 154 | 54.0 |
| 2級 | 111 | 38.9 |
| 欠損値 | 20 | 7.0 |
| 合計 | 285 | 100.0 |

図８　障害年金の等級

１１．同居者の状況（MA）

同居者の調査に関して、69.9％が父親と回答した（表11、図9）

表11　同居者の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 配偶者 | 20 | 5.8 |
| 夫・妻 | 8 | 2.3 |
| 子ども | 179 | 51.7 |
| 父親 | 242 | 69.9 |
| 兄弟、姉妹 | 115 | 33.2 |
| 祖父 | 6 | 1.7 |
| 祖母 | 23 | 6.6 |
| 一人暮らし | 22 | 6.4 |
| その他 | 55 | 15.9 |

図9　同居者の状況

表12　同居者におけるその他の項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| グループホーム | 42 | 76.4 |
| 月～金グループホーム、土日祭日は自宅 | 1 | 1.8 |
| 姉の夫・姉の子供 | 1 | 1.8 |
| 施設 | 1 | 1.8 |
| 叔父 | 1 | 1.8 |
| 叔父・叔母 | 1 | 1.8 |
| 孫 | 1 | 1.8 |
| 入所施設 | 1 | 1.8 |
| 平日はグループホーム | 1 | 1.8 |
| 姪 | 1 | 1.8 |
| GH　　月5～10日 | 1 | 1.8 |
| 無回答 | 3 | 5.5 |
| 合計 | 55 | 100.0 |

１２．主たる介護者

主たる介護者に関して、50.３％が母親と回答した（表13、図10、表１４，図11）

表13　主たる介護者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 配偶者（夫・妻） | 16 | 4.6 |
| 子ども | 3 | 0.9 |
| 父親 | 13 | 3.8 |
| 母親 | 174 | 50.3 |
| 兄弟・姉妹 | 14 | 4.0 |
| その他 | 32 | 9.2 |
| 介護を必要としていない | 37 | 10.7 |
| 無回答 | 57 | 16.5 |
| 合計 | 346 | 100.0 |

図10　主たる介護者

表14　主たる介護者におけるその他

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| グループホーム職員 | 10 | 31.3 |
| 世話人 | 1 | 3.1 |
| ヘルパー | 2 | 6.3 |
| 介護事業所 | 1 | 3.1 |
| 施設職員 | 2 | 6.3 |
| 職員、ヘルパー | 1 | 3.1 |
| 世話人 | 2 | 6.3 |
| 入所施設職 | 1 | 3.1 |
| 訪問看護師 | 1 | 3.1 |
| 寮母さん他 | 1 | 3.1 |
| GH | 3 | 9.4 |
| GH・世話人 | 1 | 3.1 |
| GHスタッフ | 1 | 3.1 |
| GHの職員 | 2 | 6.3 |
| GHの世話人 | 3 | 9.4 |
| GH支援員 | 1 | 3.1 |

図11　主たる介護者におけるその他

１３．主たる介護者の年齢

介護者の年齢に関して、44.２％が40歳以上64歳以下であると回答した（表15、図12）

表15　主たる介護者の年齢

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 40歳未満 | 9 | 2.6 |
| 40歳以上64歳以下 | 153 | 44.2 |
| 65歳以上74歳以下 | 71 | 20.5 |
| 75歳以上 | 44 | 12.7 |
| 無回答 | 69 | 19.9 |
| 合計 | 346 | 100.0 |

図12　主たる介護者の年齢

１４．生活介護の利用

生活介護の利用に関して、180人（52.0％）が利用していると回答した

１５．就労支援継続B型の利用

就労支援継続B型の利用に関して、156人（54.9％）が利用していると回答した

１６．通所事業所利用の際に重視した項目

通所事業所利用の際に重視した項目の中で７０％をとても大事にした、または大事にしたと回答した項目として、レクリエーション、作業内容、職員の対応の三つが上がった（表16、図13）

表16　通所事業所利用の際に重視した項目

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | とても大事にした | | 大事にした | | あまり大事にしなかった | | 大事にしなかった | |
| 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ |
| 送迎 | 117 | 33.8 | 59 | 17.1 | 38 | 11.0 | 59 | 17.1 |
| 入浴ケア | 24 | 6.9 | 26 | 7.5 | 35 | 10.1 | 131 | 37.9 |
| 食事ケア | 70 | 20.2 | 90 | 26.0 | 30 | 8.7 | 64 | 18.5 |
| 排泄ケア | 65 | 18.8 | 68 | 19.7 | 38 | 11.0 | 71 | 20.5 |
| 機能訓練 | 49 | 14.2 | 94 | 27.2 | 52 | 15.0 | 50 | 14.5 |
| 外出支援 | 54 | 15.6 | 102 | 29.5 | 61 | 17.6 | 37 | 10.7 |
| レクリエーション | 75 | 21.7 | 149 | 43.1 | 46 | 13.3 | 12 | 3.5 |
| 作業内容 | 124 | 35.8 | 140 | 40.5 | 31 | 9.0 | 9 | 2.6 |
| 工賃 | 40 | 11.6 | 70 | 20.2 | 107 | 30.9 | 53 | 15.3 |
| 建物の広さや環境 | 97 | 28.0 | 143 | 41.3 | 39 | 11.3 | 7 | 2.0 |
| 職員の対応 | 215 | 62.1 | 85 | 24.6 | 9 | 2.6 | 0 | 0.0 |
| その他 | 23 | 6.6 | 28 | 8.1 | 13 | 3.8 | 9 | 2.6 |

図13　事業所利用の際に重視した項目

１７．利用している通所サービスの満足度

利用している通所サービスの満足度に関して、全ての項目において７割以上が満足、やや満足と回答した（表17、図14）

表17　利用している通所サービスの満足度

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 満足 | | やや満足 | | やや不満 | | 不満 | |
| 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ |
| 送迎 | 161 | 46.5 | 44 | 12.7 | 17 | 4.9 | 1 | 0.3 |
| 入浴ケア | 39 | 11.3 | 28 | 8.1 | 8 | 2.3 | 11 | 3.2 |
| 食事ケア | 130 | 37.6 | 63 | 18.2 | 7 | 2.0 | 3 | 0.9 |
| 排泄ケア | 106 | 30.6 | 56 | 16.2 | 11 | 3.2 | 3 | 0.9 |
| 機能訓練 | 80 | 23.1 | 77 | 22.3 | 18 | 5.2 | 7 | 2.0 |
| 外出支援 | 85 | 24.6 | 73 | 21.1 | 23 | 6.6 | 11 | 3.2 |
| レクリエーション | 117 | 33.8 | 107 | 30.9 | 29 | 8.4 | 12 | 3.5 |
| 作業内容 | 139 | 40.2 | 124 | 35.8 | 28 | 8.1 | 6 | 1.7 |
| 工賃 | 84 | 24.3 | 117 | 33.8 | 41 | 11.8 | 16 | 4.6 |
| 建物の広さや環境 | 135 | 39.0 | 109 | 31.5 | 41 | 11.8 | 10 | 2.9 |
| 職員の対応 | 199 | 57.5 | 98 | 28.3 | 15 | 4.3 | 3 | 0.9 |
| その他 | 29 | 8.4 | 24 | 6.9 | 4 | 1.2 | 2 | 0.6 |

図14　利用している通所サービスの満足度

表18　における不満、やや不満の理由

|  |
| --- |
| ・⑦について参加していない・作業内容は不満（仕事ではないので）  ・バスの大型化のよってバスポイントが自宅から遠くなったこと（天気の悪い日など考えると気が重い）  ・人数が多く密度が高いこと  ・フィットネスの選曲のバラエティーを増やしてほしい。・音楽療法の選曲のバラ絵エティ―も増やしてほしい  ・所内がせまい・利用料が発生している為ほとんど手元に残らない、何とかしてほしい  ・送迎の時間が遅く迎えに来て、早く帰ってくるから。・機能訓練は時にしていない(？）。  ・食事はどのくらいケアできているのか不明なので  ・担当の職員がすぐに変わってしまい、慣れるまで時間がかかる。・気に入っていた仕事ができない。  ・入浴、機能訓練のサービスは行われていない　・外出や運動の機会が少ない  ①②は実施されてない。評価はこれから  送迎ポイントまで、遠いし、送迎者に乗っている時間が1時間半と長が過ぎる。  作業が少なく、選択肢も少ない。工賃が低すぎる。作業所の面積のわりに利用者が多  ①②③④⑤⑥⑧⑩利用していないので満足度はお答えできません。  ②は希望していましたがまだ始められていません。　⑤～⑥は実施していただいている様ですが、内容は把握できていません。　⑦は行って頂いていますが、動けない人も参加出来る事を増やして頂くと尚ありがたいです。  ④夜もおもらししたことないのに毎日夏場でももらしたこと。⑤フィットネスなど参加させて欲しい、本人の意思がなくても。⑥おたのしみ等年末の忘年会のみ。メンバーの自治会も月金の200円です。それで昔は、～のおたのしみをしていたのですがー。  ⑤時間的に⑦時間的に仕事中心で良いと思っている。  ⑦バス旅行など外出のレクリエーションがあったらと思う。⑧・⑨は、本人の能力の問題ではあるが、もう少し工賃につながるような作業に関われたらうれしい。⑩利用者が増えたので、少し狭く感じる。  ⑨工賃は１万円以下の場合が多い、もう少し多いほうがよい⑩建物は少しせまい  ⑨生活介護での作業に工賃が発生してないから⑩利用者の多様性に応じた広さ、環境ではないと感じる  あまり食べられず帰って来る時がある。トイレグッズの袋内がぐちゃぐちゃになって帰ってくることがある  コロナの影響でレクリエーションが全然行われていない  コロナの影響で作業が減少した様なので工賃も減った様です。  コロナの影響でDVPが多いのは、しょうがないが、やや不満であるのは事実  コロナ感染拡大防止のためには、建物の広さが必要な分には満たない。  さぎょうないようについてここ１～２ねんはおしぼりをたたむことばかりやっていますでもおなじことをつづけるのはかならずしもわるくないです。部屋は広くない。  バスポイントが自宅からとても遠い  ペースト職の注入を胃ろうからしてもらえない事。数年前に話をした事があります。  できないと言われことらもそれ以降この話をしていませんが・・・  まだ外出支援が出来ない  もう少し給料がほしいです。  もう少し工賃を上げてほしい。3密である。  リハビリ病院の医師の助言を聞き入れてない…と思っているのは家族で本人はまぁまぁ満足していると思います。  レクリエーションで外出する日、場をもっと欲しい。カフェなどを利用すると良いと思います  阿佐谷福祉工房に入った時は、先生達が温かく一生懸命にやってくれた。その後方針が変り、経営者が考えの違う人は出ていけという方針なので、皆やめていって、その後もスタッフがいつかない。異動もひんぱんにあり、よい人がきてもいなくなるので、常に人が変って１年から2年もいない。パートの人も含めてよい人はながく働けるようにしてほしい。  以前から狭いとは思っていましたが、コロナの事も含めて考えると、建物の大きさに対して人が多すぎることは否めないと思います。一人で通所できないので、送迎かあるいは移動支援が通所で使えるといい。  年に1回は旅行に連れていって欲しい  遠方のためバスを利用したいが該当地域に入っていないため  夏・冬の公園清掃は大変  介助を待つ時があり、ちょっとさみしい。外出できないのが残念  外出も機会が無い  外出やレクリエーションの機会が少ない  希望しているが実施されていないので  機能訓練は本人にむいてないかもしれない。作業内容は屋外作業の量が少ない。工賃については、そもそも全くない。  建物関係は、面積が狭い  建物が古くトイレが使いにくい  建物の広さは、3密を避けられる広さではない。  建物の老朽化  建物や設備が古くなってきていて、衛生面などに不安がある。（トイレなど）  言葉のコミュニケーションが難しいため親との連絡が大切になってくるのですが職員の入れ替わりが多くなかなか伝わらない。引き継ぎが悪い。  工賃がどんどん減っていった  工賃が安いのでもう少しあげて欲しいと思う。メニューにもっとバラエティに富んだものにして欲しい  工賃は、本当に少ない。他の所に通所するお友人に聞いても少ないと感じた。  工賃はどの事業所もとても安いと思います。それはずっと前から変わっていません。作用内容によっても変えてほしいし、B型就労の工賃をもっと上げてほしいです。  工賃は安いです  今までやっていた事（ラスク、クッキ作り）が職員の移動、職人の不在により、続けられなくなった。継続できる様、努力してほしかった。どこでも人手不足なのは分かるが、もう少し考えてほしかった。止める事は最後の手段ではないかと思う。簡単に処理することに不満が残ります。  作業場、かいだんがやや狭い。  作業内容・・・新しいことや芸術活動行われないため　工賃・・・仕方ないとは思うが、工夫しだいでもう少し上がると思う  作業内容が、自分が目指しているものと少し違う（自分はプログラミングがやりたいのだが実際は文字入力ばかりやっている。）  作業内容が単一で選択肢が少ないため  仕事の能力が低いので工賃額は少なくて当然ですが、給食費として消えてしまい手元には残りません。将来のための貯蓄になりません。円  仕事はあまりできませんが、子供のおこづかいよりひどい時もあり以前は（何年も前ですが）１万円位もらった時もありました。現在は２～３千円程度でびっくりする時もあります。  仕方無いかもしれないがまいにち通って、1万円と少しでは、少ないと思う。  自分（通所している本人）の事を理解していない職員がいる。個人個人に適切な対応をしてほしい。作業や行動に対し、本人がやる気が出るような声かけをしてほしい  車（ワゴンしたい）入浴は〇〇さんに介護してもらいたくない（手すりことでつかまってと言わくない）  天気がよいとき外で歩きたい。レクリエーションはボールつかってもっと運動したい  宿泊、郊外活動がないこと  職員の定着が悪い(退職される方が多く、ベテランの方がいらっしゃらなくなることに不安があります。新しく加わった方々も努力されているのは理解していますが。職員さんの福利（職員の給料をあげて欲しい職員の定着が悪いのはこの支援の仕事に対する誇りが持てないせいだと思う）  職員の入れ替わりが多い。作業室が手狭で密になってしまう。  職員をもっと人数をふやしもう少しお金をかける  食事の事で安全対策ばっかり重すぎて食事や歯ごたえやおいしい～などなく、ひどい時は、とろみがだまになっていたりしている。外出は毎回同じ所が多い。園の出入口が子どもっぽい～も同じ  食事はおいしいが、ケアという面では職員さんがやめられることが多く、みなさん良い方だが、支援力の面で不安がある。  せっかくとても良い職員さんがいらしても、その職員さんを教えて下さるベテランの職員さんがいない。法人に問題があると思う。法人を大きくすることや外面ばかりで、利用者のことを一番に考えていない。  人員不足のため  人手不足で改善してほしい事を伝えてもなかなか改善されない。細やかな個人的な希望は無理なんだろうと、こちらもあきらめている。その想いが基本的にあるので、思っても言わなくなる。のみこむ事も多い。目に余る事以外は言わない。  人数が多いので密になりやすい  生活介護のサービスでは通所することが基本。通所する方法が確保されていなければいけないと思います。現在は親が送迎するなどしていて、いつこの状態が崩壊するか、わかりません。生活介護するべきだと思います。人材不足の育成、福祉に従事する人の大幅な待遇改善が必要です。  誠に親切丁寧です  送迎を受けられたら受けたい  送迎付きという条件で、入所したにも関わらず途中から、自分で通う事になってしまった。バスが時間通りに来ず、それを見越して準備をする為、負担が大きい  他の作業所と比べて安いのでは？他作業所に比べ低い。  知的障害の通所事業所であるため、入浴ケアはない。作業内容あ安定供給とまではいっていない  通勤費を全額補助にして欲しい  通所～小さく密である。・機能訓練士が分からないがケアの訓練をするに当たって、きちんと利用者の特製を理解していない。  ・以前はいろいろな外出支援があったが、今はほとんど外出にいくのは～ぐらいである。  レクリエーションも今のところ殆どナシ！あっても定期的なものではなく作業がヒマだと行う。要するに利用者本位の活動内容ではない。・作業工程についてグループや担当者によって評価が異なったりして、グループ毎で競争している感じで本人たちことを考えていない。  建て替えたにも関わらず、利用者の使い勝手悪し！  通所5年になりますが、その間事業所の形態や人事、日中活動も変化がありました。毎年入所者も増えて5年で約2倍の利用者です。新型コロナの影響で、チラシ折りやポスティングの仕事等も終了あるいは半減しました。  利用者サイドの目線で笑顔が増えていく様な日中の過ごし方をトライしてもらいたいです。本人は、ウォーキングで外に出る時間が唯一楽しみで毎日通所しております。  日帰りのお出かけをずっと希望していますが叶わないため  入所したときは、作業内容が外でのお仕事が多かった。レクリエーションも、土曜日に色々な所にお出かけするのが良かったのですが、今は外出が無くなり室内のレクリエーションになってしまったのが残念です。  入所当時は大変満足のいくものであったが、突然の事業転換利用者への支援の低下、職員の大量の離職から始まりもう何年も職員が定着せず、数少ない育った職員はすぐに他事業所に配置換えさせられてしまう。不満な部分を申し入れすると、「職員のスキルが足りないので無理」と言われてしまう。  入浴ケア、昨日訓練はない。外出支援は移動支援。レクリエーションはあまり充実していない。選べるほど選択肢がない。移動（スペース）に余裕がないので、落ち着きがない。工賃は年々どんどん下がっている→作業の内容さえよければどちらでもいい  入浴ケアはない  入浴設備がない  年々、少なくなっていき残念。内容ももっと、遠くまで外出したり好きな場所へ行けたので  年々外出がすくなくなっているように思います。園以外での交流を大切にしたいと思う  年金（障害）をもらっていましたが、上半身の痛さ、辛さがあるのに見かけは何ともなく２級→３級になり、年金(障害)をもらえなくなり、老齢年金は、結婚していた13年間の無年金  不満ややや不満ではなく①～⑤は受けていません。⑤・⑥に関しては作業重視の為少ない気がする。  弁当のカロリーが高すぎる |

１８．通所サービスでの困っている項目

通所サービスでの困っている項目に関して、「とても困っている」または「少し困っている」と回答したものが半数を超えた項目として「屋外の移動」が上がった（表19、図15）

表19　通所サービスでの困っている項目

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | とても困っている | | 少し困っている | | あまり困っていない | | 全く困っていない | |
| 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ |
| 屋内の移動 | 5 | 1.4 | 57 | 16.5 | 112 | 32.4 | 111 | 32.1 |
| 屋外の移動 | 43 | 12.4 | 109 | 31.5 | 88 | 25.4 | 57 | 16.5 |
| 入浴 | 18 | 5.2 | 74 | 21.4 | 95 | 27.5 | 83 | 24.0 |
| 食事 | 12 | 3.5 | 57 | 16.5 | 117 | 33.8 | 98 | 28.3 |
| 排泄 | 16 | 4.6 | 73 | 21.1 | 94 | 27.2 | 99 | 28.6 |
| 機能訓練 | 17 | 4.9 | 68 | 19.7 | 89 | 25.7 | 77 | 22.3 |
| レクリエーション・レジャー | 40 | 11.6 | 91 | 26.3 | 95 | 27.5 | 56 | 16.2 |
| 医療 | 20 | 5.8 | 77 | 22.3 | 111 | 32.1 | 73 | 21.1 |
| その他 | 7 | 2.0 | 13 | 3.8 | 31 | 9.0 | 29 | 8.4 |

図15　通所サービスでの困っている項目

１９．介護保険制度の利用

介護保険制度の利用に関して、82.９％が「利用していない」と回答した（表20、図16）

表20　介護保険制度の利用

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 利用していない | 287 | 82.9 |
| 利用している | 25 | 7.2 |
| 欠損値 | 34 | 9.8 |
| 合計 | 346 | 100.0 |

図16　介護保険制度の利用

２０．介護保険制度際の要介護度

介護保険利用の際の要介護度に関して、「要介護１」と回答したものが24.0％おり、最も多い回答となった（表21、図17）

表21　介護保険制度際の要介護度

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 要支援１ | 3 | 12.0 |
| 要支援２ | 3 | 12.0 |
| 要介護１ | 6 | 24.0 |
| 要介護２ | 1 | 4.0 |
| 要介護３ | 5 | 20.0 |
| 要介護４ | 1 | 4.0 |
| 要介護５ | 2 | 8.0 |
| 欠損値 | 4 | 16.0 |
| 合計 | 25 | 100.0 |

図17　介護保険制度際の要介護度

２１．利用している介護保険サービス

介護保険を利用しているものうし、利用している介護保険サービスに関して、36.0％が訪問看護を利用していると回答した（表22、表23、図18）

表22　利用している介護保険サービス

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 訪問介護 | 8 | 32.0 |
| 訪問看護 | 9 | 36.0 |
| 訪問リハビリテーション | 4 | 16.0 |
| 訪問入浴 | 3 | 12.0 |
| 通所介護 | 6 | 24.0 |
| 通所リハビリテーション | 8 | 32.0 |
| 福祉用具貸与 | 8 | 32.0 |
| 特定福祉用具販売 | 2 | 8.0 |
| 短期入所（生活介護・療養介護） | 6 | 24.0 |
| その他 | 3 | 12.0 |

図18　利用している介護保険サービス

表23　利用している介護保険サービスのその他の項目

|  |
| --- |
| ささえあい（そうじ）  スポーツクラブで筋肉を鍛え  ヘルパー―ハケン |

２２．介護保険の具体定期なサービスの認知度

介護保険の具体定期なサービスに関して、37.９％が「全く知らない」と回答した（表24、図18）

表24　介護保険の具体定期なサービスを知っているか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| よく知っている | 16 | 4.6 |
| 少し知っている | 67 | 19.4 |
| ほとんど知らない | 103 | 29.8 |
| まったく知らない | 131 | 37.9 |
| 欠損値 | 29 | 8.4 |
| 合計 | 346 | 100.0 |

図18　介護保険の具体定期なサービスを知っているか

２３．介護保険の通所サービスを利用したいか

「介護保険の通所サービスを利用したいか」に関して、55.２％が「知らないので判断できない」と回答した（表25、図19）

表25　介護保険の通所サービスを利用したいか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | パーセント |
| 利用したいと思う | 49 | 14.2 |
| 利用したいと思わない | 51 | 14.7 |
| 知らないので判断できない | 191 | 55.2 |
| 欠損値 | 55 | 15.9 |
| 合計 | 346 | 100.0 |

図19　介護保険の通所サービスを利用したいか

２４．介護保険の通所サービスを今後利用したい理由

介護保険の通所サービスを今後利用したいと回答したものにその理由を尋ねたところ、「玄関先まで迎えに来てくれるから」と回答した者が67.3％であった。（表26、表27、図20）

表26　介護保険の通所サービスを今後利用したい理由

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 玄関先まで迎えに来てくれるから | 33 | 67.3 |
| お風呂に入れると聞いたから | 30 | 61.2 |
| 体力的に今の作業内容がキツくなってきたから | 22 | 44.9 |

図20　介護保険の通所サービスを今後利用したい理由

表27　その他の項目

|  |
| --- |
| 現在は利用できる年令ではない  利用料が発生して年金のみではやっていけない  サービス内容が本人に合っているとは思えないから  年金がまだ若いので  環境の変化に敏感なため  人間関係のとまどいがある  なし  仕事がしたい  移動支援を受けていますから。  年寄だけが集まると自分もよけい年寄になってしまいそう。 |

２５．介護保険の通所サービスを今後利用したくない理由

介護保険の通所サービスを今後利用したいと思わなないと回答したものにその理由を尋ねたところ、「今のところで慣れているから」と回答した者が100.0％であった。（表28、図21）

表28、介護保険の通所サービスを今後利用したくない理由

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 何をしているところかわからないから | 19 | 37.3 |
| 今のところで慣れているから | 51 | 100.0 |
| 年齢層が離れているから | 25 | 49.0 |
| 今の通所事業所とプログラムが変わってしまうから | 19 | 37.3 |
| 工賃がなくなってしまうから | 19 | 37.3 |
| その他 | 10 | 19.6 |

図21　介護保険の通所サービスを今後利用したくない理由

表29　その他

|  |
| --- |
| 現在は利用できる年歳ではない  利用料が発生して年金のみではやっていけない  サービス内容が本人に合っているとは思えないから  年金がまだ若いので  環境の変化に敏感なため  人間関係のとまどいがある  なし  仕事がしたい  移動支援を受けていますから。  年寄だけが集まると自分もよけい年寄になってしまいそう。 |

２６．共生型サービスの認知度

共生型サービスに認知度に関して、83.８％が「知らない」と回答した（表30、31、図22）

表30　共生型サービスの認知度

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | パーセント |
| 知っている | 36 | 10.4 |
| 知らない | 290 | 83.8 |
| 欠損値 | 20 | 5.8 |
| 合計 | 346 | 100.0 |

図22　共生型サービスの認知度

２７．福祉サービスの情報元

福祉サービスの情報元に関して、52.3％が「サービス提供事業者」からの情報であると回答した（表30、図23）

表30　福祉サービスの情報元

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 相談窓口など | 77 | 22.3 |
| 広報誌など区のお知らせ | 93 | 26.9 |
| 障害者の手引き | 151 | 43.6 |
| 区のホームページ・のーまらいふ杉並など | 33 | 9.5 |
| 病院・診療所からの情報 | 30 | 8.7 |
| サービス提供事業者からの情報 | 181 | 52.3 |
| 障害者団体からの情報 | 90 | 26.0 |
| 友人や知人・家族からの情報 | 150 | 43.4 |

図23　福祉サービスの情報元

表31　福祉サービスの情報元におけるその他の内容

|  |
| --- |
| グループホーム職員  わからない  作業所からのお知らせ。  職員の方からです。  知的障害があるので地震では判断で  知的障害だからわからない  通所サービス先から  通所先からの情報  福祉事務所  保険センター  本人の知的能力から、情報を理解す  理解が難しい  ＧＨ・通所施設職員  GH・通所職員 |

【通所サービスを利用している障害当事者家族調査】

１．回答者の属性

障害当事者から見た続柄に関して、母親が225人（71.7％）と回答し7割以上を占めた（表１、図１）

表１　回答者の続柄

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 母親 | 225 | 71.7 |
| 父親 | 13 | 4.1 |
| 兄弟・姉妹 | 18 | 5.7 |
| 子ども | 8 | 2.5 |
| 配偶者 | 15 | 4.8 |
| その他 | 20 | 6.4 |
| 欠損値 | 15 | 4.8 |
| 合計 | 314 | 100.0 |

図１　回答者の続柄

２．同居の有無

　障害当事者との同居の有無に関して、８割弱が同居状態であると回答した（表２、図２）

　表２　同居の有無

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 同居している | 245 | 78.0 |
| 同居していない | 50 | 15.9 |
| 合計 | 314 | 100.0 |

　図２　同居の有無

３．同居以外の生活環境

（親族などと）同居していない調査協力者の内、生活拠点として、グループホームに入居している方が８割占めた。（表３、図３）

表３　同居以外の生活環境

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 一人暮らしをしている | 6 | 12.0 |
| グループホームに入居している | 44 | 88.0 |
| 施設に入所している | 2 | 4.0 |
| その他 | 2 | 4.0 |
| 土日に利用している | 1 | 2.0 |

図３　同居以外の生活環境

４．身体障害者手帳の所持

　身体障害手帳の所持は109人（34.7％）であった。

５．身体障害者手帳の所持者における等級

身体障害者手帳の等級として最も多い回答が1級（56.0％）であった。（表５、図５）

表５　身体障害者手帳の所持者における級

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 1級 | 61 | 56.0 |
| 2級 | 21 | 19.3 |
| 3級 | 12 | 11.0 |
| 4級 | 2 | 1.8 |
| 5級 | 7 | 6.4 |
| 6級 | 2 | 1.8 |
| 合計 | 109 | 100.0 |

図５　身体障害者手帳の所持者における等級

６．愛の手帳の所持者

　愛の手帳の所持者は249人（79.3％）であった。

７．愛の手帳所持者の度数

　愛の手帳の度として2度が１３８人（43.9％）と、もっとも回答者が多かった（表６、図６）

表６　愛の手帳所持者の度数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 1度 | 13 | 4.1 |
| 2度 | 138 | 43.9 |
| 3度 | 62 | 19.7 |
| 4度 | 30 | 9.6 |
| 欠損値 | 1 | 0.3 |
| 合計 | 314 | 100.0 |

図６　愛の手帳所持者の度数

８．精神保健福祉手帳の所持

精神保健福祉手帳の所持として26名（8.3％）が所持していると回答した。

９．精神保健福祉手帳の所持の級

精神保健福祉手帳の級として２級が最も回答が多い項目となった。（表７、図７）

表７　精神保健福祉手帳の所持の級

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 1級 | 3 | 11.5 |
| 2級 | 18 | 69.2 |
| 3級 | 5 | 19.2 |

図7　精神保健福祉手帳の等級

１０．主な障害の内容

主な障害の内容に関して、25.2％が肢体不自由と回答した（表8、図８）

表8　主な障害の内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 視覚障害 | 7 | 6.4 |
| 平衡機能障害聴覚障害・ | 2 | 1.8 |
| 音声・言語・そしゃく機能障害 | 2 | 1.8 |
| 肢体不自由 | 79 | 72.5 |
| 内部障害 | 3 | 2.8 |
| 難病 | 1 | 0.9 |
| その他 | 12 | 11.0 |
| 欠損値 | 3 | 2.8 |
| 合計 | 109 | 100.0 |

図８　主な障害の内容

１１．障害の内容におけるその他の内容

その他に該当した障害内容は主に１２種の内容が含まれることが読み取られた。（表９）

表９　障害の内容におけるその他の内容

|  |
| --- |
| ダウン症 |
| てんかん |
| 高次機能障害 |
| 骨折のため。左足関節機能全廃 |
| 疾患による四肢体幹機能障害（２） |
| 心身障害者 |
| 心臓機能障害 |
| 精神 |
| 精神障害、統合失調症 |
| 体幹機能障害（２） |
| 知的障害 |
| ＳＬＥ |

１２．障害年金受給

障害年金受給に関して256名（81.5％）が受け取っていると回答した

１３．障害年金の等級

障害年金の等級に関して、47.１％が「１」と回答した（表１０、図９）

表10　障害年金の等級

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 1級 | 148 | 57.8 |
| 2級 | 90 | 35.2 |
| 欠損値 | 18 | 7.0 |
| 合計 | 314 | 100.0 |

図9　障害年金の等級

１４．主な介護者の年齢層

　主な介護者の年齢層として４０歳以上６５歳以上の回答に対して54.8％が回答した（表11、図10）

表11　主な介護者の年齢層

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 40歳以上 | 14 | 4.5 |
| 40歳以上64歳以下 | 172 | 54.8 |
| 65歳以上74歳以下 | 76 | 24.2 |
| 75歳以上 | 37 | 11.8 |
| 欠損値 | 15 | 4.8 |
| 合計 | 299 | 95.2 |

図10　主な介護者の年齢層

１５．主たる介護者の健康状態

主たる介護者の健康状態に関して、31.２％が３と回答した（表12図11）

表12　主たる介護者の健康状態

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 全く介護に支障はない | 78 | 24.8 |
| あまり介護に支障はない | 93 | 29.6 |
| 少し介護に支障がでてきた | 98 | 31.2 |
| とても介護に支障がある | 22 | 7.0 |
| 欠損値 | 23 | 7.3 |
| 合計 | 314 | 100.0 |

図11　主たる介護者の健康状態

１６．介護負担感

調査対象における角項目に対する介護負担感として、少し負担がある、かなり負担があると回答されたものが５０％を超えたものとして「レクリエーション」と「屋外の移動」であった。（表13、14、図12）

表13　介護負担感

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | まったく負担がない | | あまり負担がない | | 少し負担がある | | とても負担がある | |
|  | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ |
| 屋内の移動 | 102 | 32.5 | 99 | 31.5 | 58 | 18.5 | 15 | 4.8 |
| 屋外の移動 | 56 | 17.8 | 61 | 19.4 | 102 | 32.5 | 59 | 18.8 |
| 入浴 | 72 | 22.9 | 76 | 24.2 | 88 | 28.0 | 47 | 15.0 |
| 食事 | 70 | 22.3 | 115 | 36.6 | 75 | 23.9 | 12 | 3.8 |
| 排泄 | 70 | 24.8 | 115 | 25.8 | 75 | 28.0 | 12 | 8.6 |
| 機能訓練 | 76 | 24.2 | 78 | 24.8 | 65 | 20.7 | 33 | 10.5 |
| レク | 45 | 14.3 | 78 | 24.8 | 86 | 27.4 | 64 | 20.4 |
| 医療 | 42 | 13.4 | 90 | 28.7 | 99 | 31.5 | 43 | 13.7 |
| その他 | 11 | 3.5 | 12 | 3.8 | 9 | 2. | 9 | 2.9 |

図12　介護負担感

表14　負担におけるその他の内容

|  |
| --- |
| 外出に見守りが必要。移動支援でのレクリエーション利用をしている。  屋外移動時、危険（飛び出し）信号が分からない等  本人は左半身マヒで、１人ですべてを行うことができません。常に介助が必要です。  介護者（母）自身の体調が悪い時があり、障害者を連れて歩く時困難になる時がある。また、病院の検査、入院の時の付き添いを求められ、これから先が心配。介護者の親の介護をもしており、先が心配。  常に見守りが必要な為一人で外出はさせられず、いつも一緒に出掛けるのに疲れてきています。  多動など常同行動がある。自閉症で会話が成立しないことがある  ・自分の足の痛み(障害者本人ではなく介護者から）　・足腰のいたみと(男性用)トイレ　・耳等のこまかい洗いの手伝い、皆自分の足腰のせい　・栄養等たまのり帰宅にすごく気をつかう　・たのしませるような外出が出来ない　・グループホームへくすりを届ける日時のずれができる。  歩くことでモタモタ、ユラユラ等不定な歩き方、外出（買い物長くできない）横になると息切れが少しある  歩くときはうでをくまないと歩くのに自信がない。　入浴は１人では出来ない。　食事むせりあり。　レク、カラオケなどヘルパーさんがみつからない。　病院に行く時、タクシー代が大変  入浴、排泄は、本人だけでは、不完全なため介護者が仕上げをする必要がある。またレクリエーション・レジャー・医療は介護者の付き添いが必要で、介護者の体調が悪い時には負担を感じている。  数年前までは一緒にポケモンの映画、プール、鉄道博物館へ出かけておりましたが、今は私(母)と外出を嫌がります。現在６４才でかなりキツくなりましたが・・・。移動支援も嫌がり、「やっと作業所からの教歩」を利用出来ていますが、ショートステイケアｅｔｃ拒否しております。　遠方の実家の母からも頼られていますが、５９才で元主人から離婚を申し立てされ、仕事もしなければなりません。いろいろなストレスで高血圧になり、病院通いで薬を飲んでおります。抗うつ剤も所方されました。今年はひどいアレルギーで頭皮と顔、手首が赤くかゆくなり、シャンプー、化粧水も使わないよう指導され、ワセリンとステロイド使用しています。  場所により一人で通院出来ない  入浴全介助・食事食べ方を指導しないと好きなものばかり食べる。排便時に上手にできないので必ずチェックする。排尿の時に汚す（ゆか等）。てんかん発作が有るので付き添が必要である  歯みがきの仕上げ＝本人の磨きのままにしておけず（ブリッジもあるので）週1くらいは仕上げをする　爪きり＝本人にはやらせたことがない、無理と思われる  ・レクレーション、レジャー：一緒に行く、連れていく必要がある（介護者78才）　・医療：喘息、メンタル、整形（足の痛み）で通院他負担多大　・食事：食べるのは本人１人で可　・入浴：補助  意思の疎通がむずかしい（言葉はなし）。　自力で出来る事があまりない。　1人での外出は出来ない  やはり子供の障害が重いので意思がどういうものか分からないから、病院の治療など苦労ある　食事・排泄入浴介助　～親の年金がすすむととても負担に以降する。  ・入浴は、お風呂の出入りなどは自分で出来るものの、体を洗ったり、ふいたりする事などは出来ない。　・排泄は、といれに行く事はある程度自分で出来るものの始末は出来ない。　・食事は自分で食べるもののこぼしたりする。　・外出などは、すべて付き添いが必要。  母親と二人での外出はむずかしい。　家の中でも水飲み行為が続くなど目が離せず、介護は負担でもある（自分の体力の問題）  自分自身が悪い所が出てきたり、体力が落ちてきたとのこと。当事者の体力も落ちてきて、介護度が高くなったため、負担を感じるようになった。たとえば、当事者の歩行の出来る距離が短くなり、車イスに乗ることが多くなった。自分の体力が落ち、長時間車イスを押すことを重いと感じるようになった、など  自閉症特有の聴覚過敏が激しく、人混みの中に居られません。バス、電車中も騒がしくなると下車するなどの対応をせねばパニックとなり自傷、他害があり難しく、医療を受ける時も幼児がいない事を確認し連れて行ってきます。  マッサージが多くなれてきました  自分ではできない(拒否もある）ので、ほぼ介護者がやってあげなくてはいけない  大勢の人がいる所へは、行きにくいので、連れていかないことを考える。　新しいことが苦手なのでパニックになることを恐れる。  ・屋外の移動では、気持ちが崩れた時の対応が身体の大きい本人に対し難しい時がある。　・入浴　同性の母親が入れることが多いので母親の入院で長期に渡ると難しい。　・以前より介護者の体力の低下に比べ本人は元気なので外出して楽しむ時間が減った。  外出時の交通機関の利用に負担を感じる。　タクシーなどは乗車拒否されりこともある  排便をトイレではなく、風呂場ですることがよくある  パニック時、力が強くなり大変・妹がやっております  私が具合が悪いとき、疲れているとき、猛暑のときなど、ひとつひとつの動作に時間や手間、忍耐が必要なので、負担を感じる。また、介護するのを他の家族はもっとイライラしてしまうので、結局私がやることとなり、気分的にも負担となる。  トイレが間に合わず、尿もれすることがたまにある  二人共に入浴、本人先に洗ってあげる（自分でも少しできるが洗い残し有）ので私自身ゆっくり入浴できない。  ・外出の際、寝転び、暴走などにより、本人の意思うぃつらぬこうとする為、体力的に単独では抑止できなくなってしまった。親の老化と本人の肥満により状況が悪化  UHSのディズニー（オールド）に心の安定を求めてるので、今日まで環境をととのえることに尽力してきたが、もはやテープもデッキも入手困難となって困っている。対応できない時に流血自傷となるためハラハラしている。　本人以外の親族も複数介護している為時間も肉体的疲労も限界を感じている。  肥満なので食事制限したいが、過食があり、自傷したり、冷蔵庫や鍋から勝手に手づかみして食べてしまうので目が離せない。　自立していないので介護者の老化と共に負担が増しているのを感じる昨今  ホームドクターに支えられながらなんとか頑張っているが、外出自体負担があるので、通院はそもそも負担。  体力の減退、膝の痛み等から負担を感じます  親が高齢でなくても、本人が満足できるような動きができなくなってきた。介護者も疲れやすくなっている・  母親(私自身）パニック障害のため屋外移動、レク、レジャーが(通院も)できない。ヘルパーさんに頼む。しかし、今回のコロナウイルスで、移動支援を使うのもこわくなってしまった。徐々にもどしていくつもりだが。入浴介助は体重増加、足の悪さからとても大変になった。GHから帰宅時しか入浴などは行なっていない。  自宅での階段のぼりおりがへたになり、補助してあげないと、おりることができない。　・寝る時の体位移動が重くて手に負担がある。  パニックになった時は1人で対応不可。　自分が具合が悪い時も介助しないといけない。偏食が多く、常に対応した食事が必要。　下痢の時な等介助が必要。本人も完璧には普段から処理できていない。  歩き方、立ち方にくせがある。機能訓練をうけたい。（現状うけていない）  いつもと違うことをする場合は常に予定表が必要。　てんかんの時の受け入れ先が未定  体が大きく、元気なので彼のスピードについていけなくなってきました。他人に不快な気持ちをさせないように声出し、動き、距離等気を使います  見守りが必要だったり全介護ではなくても部分介護が必要  入浴は自分で洗う事が出来ない（浴槽への出入りはOK）　・排泄は、便が出た時に自分できれいに拭く事が出来ない  機能訓練はうまく続ける事が難しい  視覚及び知的障害のため介護者が必ず必要。足の骨折もあり、一人で放っておくことができないため、介護者に負担がかかる。  全てにおいて介助が必要。安全確認ができない。調理(温めること、配膳など）もできない。  本人が電車・バス・大型車を見ると強く興奮してしまうため、移動が難しい。公共交通機関が利用できないため、つねに車での移動となってしまっている。移動支援でヘルパーさんの運転する車で移動するサービスがあるとよい。　移動支援のヘルパーさんがなかなか確保できない。もう何年も使えないでいる。学生の時のように放課後デイのような建物の中でヘルパーさんと過ごせるようなサービスをお願いしたい。  歯科のように内科・耳鼻科・眼科等障害者専用の病院があるとありがたい。専用でなくても、障害者に慣れた病院があると受診しやすい  私(介護者)の年齢が上がるにつれて、体力的に介護が大変になってきている。特に持病がなくても体調の悪い時もあり、介護するのに肉体的にも精神的にも負担がある。  腰痛などにより抱きかかえての移動が辛い時がある・浴室が狭いので入浴させ辛くなってきた  家の車が福祉者でないため  言語が人に伝わりにくく、乗物に乗るには一緒でないと外出できない。一つ一つ何年もかけて出来るようになりましたが、親がいなくなったらすべて心配です。一人でいる事が好きなので慣れていない人には会うか分からない。娘とは仲が良いですが親亡き後は一緒にすむようになると思います。障害者の手続きが1年にたくさんあるので娘が判らない事が多いと思うので一番心配です。もう少しマイナンバーカードでかんたんにならないかと思います。最近は発作をおこす回数がふえ常に心配です。1日でも一緒にいられること事を願っています。  介護者の体力は、若者である本人の動きたい要求に追いつかない。本人の言葉が少なく意図が伝わらないので、介護者の気持ちに負担感が増してきた。  迷子歴が多い  すこし負担は少し手をかける。とても負担は全面的に手をかけないとだめ  基本的に一人で何かすること、させることができないので、負担は必ずあります  自身での通院は困難（症状の説明が困難）  予期せぬ突発的な行動がある（飛び出し、交通ルールが守れない、ゆくえ不明）等　・自力で入浴・更衣できない。洗身、洗髪、更衣など、すべてに介助が必要で、自分が疲れていると負担を感じる。　・食事形態（キザミ、軟菜等、誤燕しないような工夫が必要。）早食い、盗食もあり、目が離せない。　・皆と同じ動きがとれない。場を離れてしまうため、レクやレジャーを楽しめていない。病院で待てない。声を出す。検査処置への拒否がある。  自分で考えて動ける事、たのしめて動ける事をやってほしいと色々持ちかけるが、何事にも興味を持たない  動作としてはできるが、何ごとにも指示が必要。記憶障害が重いのでそのつど言わなくてはいけない  一緒に散歩、通院・病院等への同行等。  外出する時等転倒する事が多く常に手で支えている事。医療施設への送迎  １階２階と別々で、当人が２階に上がって来られないので、食事を１階迄はこんでいる  足が悪いので週末に自宅に戻ったときの対応。食事・就寝準備など  本人の体調によって、屋内、外問わず一人で過ごす事が難しい時がある。基本的には外出には付き添い、介助が必要。自宅等安心できる環境であっても一人での長時間の留守番が難しい事もある。（付き添い有でも体調で外出できないこ事も）　・幻聴や不安感が強い時は入浴に見守り、洗髪に介助が必要。  一人でまかせるには不安がある（警察お世話になることがある）  半身不随半側無視の為、人との接触、転倒にとても気を使う。　準備が出来ないので、準備に手間取る。  失敗した時の後始末が大変キツい  ・１人で医療を受けられないので、連れていく。（遠距離大病院等）　・近所で何回も定期的に通う様な時は最初連れて行き、覚えれば１人でもできる　・レクリエーション、レジャーは１人で参加できる物もあるが、連れていってあげたいけれど、私自身も介護しているので、出来ない。（移動支援で対応）  高齢になるにつれ、本人の体力について行けなくなってきた。親自身が病気にかかり、以前のように世話をするのが困難になりつつある。  入浴については半介助が必要。排泄にも当事者のこだわりがあったり、清拭とかができない。  体力的に子ども動きについていけない。言葉で指示しても理解できない。以前に比べ突然の飛び出し行動が増えてきた。子ども年を重ねて行くが必ずしも落ち着く訳ではなく、病気の発症、新たな障害やこだわりが増えて、生活しづらくなる。それに反して親・介護者は高齢化、すべてに於いて生活力が落ちていく。  足腰の移動が病気のため、繰り返し同じ意味のことを発する為疲れる  こだわりが強く、ひとつひとつ時間が大変かかったり、他の人の環境が気になって出来なくなってしまったりする。特にレクリエーションは支援者の方とやってもらう方がずっと良い。  移動支援の事業所も重度の人はやってくれなかったりする。親の負担は非常に重く、社会の偏見は大きく、温かいとはいえない。手厚い支援の必要な人もいるので、施設を作ってほしいのだが、そういう人は無視されていて、共生社会と言われても信じられない。親の負担が増えないようにと思います。  すぐにパニックをおこす。・場面切替えがまたスムーズではなくずっと立ち止まったり、椅子から立とうとしなかったり電車にすぐ乗れなかったり改札から出られなかったりする。・食事は嚥下が苦手なので刻み食、目を離せられない。  負担はあるが福祉支援のサービスを受けている（事務所・そよ風）  異性であるので屋外でのトイレ事情ｅｔｃ不安。異性であるので入浴もそのうち年齢が重なると大変になる。  現在レクリエーション・レジャーなども出来ず、その出来ない理由が本人理解できず、ストレスが目立っている。　本人の具合が悪い場合どこが痛いのかを内部の異常を把握を出来ず、重症になってしまうか不安  ひとりで歩行出来ない為、常に手つなぎでサポートが必要ですが、不安になると右傾状態の体を母親に頼ってくるので、支えきれず、共倒れになる不安が出てきています。  本人は休日には外出したいと思っているので、それが出来ないと、ストレスから不安定となり状態が悪くなるため、家族はそれに付き合わなくてはならず、年齢的にも負担感が増してきている。  外出等年齢的に疲れやすく、思うようにいかなくなった部分がある。薬等もよく管理できなくなってきた  体が大きいので、パニック時は対処が難しい  ・入浴、排泄は介助が必要なため　・レジャーは本人の意思が分かりづらい  すべてにおいての介助  介護者が八十才になったので体力的につらくなりました  私の疾患で介護従事はとても厳しい状態です。全介助の息子を１人では移乗もできません  父親と二人で介護しています。母が運転できないので父親の負担が多い（当事者…男性）  老化のため、体力がおとろえてきたので、全身的に負担を感じるようになった  食事、入浴は各１時間かかり、排泄の管理も年々負担に感じるようになった。仕事もしていく必要あり、両立が厳しくなった  屋外では車イスなので移動に大変です。入浴は湯舟にはいれないのでシャワーですます事が多く冬はあまり入らない。排泄はオムツなどでかえるのが大変（身体が大きくなっているので）  70才を越えて車の運転を止めたので遠出は出来なくなり又外出先の慣れない場所での介助が難しくなりました。トイレも1人介助では困難  家の中でもいろんな所でさわってしまったり、見守りが必要。又転とうしやすいので見守りが必要。・1人では外出ができないためつきそいが必要。・全介助で行うので年を重ねるごとに大変になってきている。・きざむなど配慮を要する。偏食ぎみ。・排便のふきとり、ときどき失禁あり。かたずけなど大変。・ストレッチなど行っている。  異性なのでトイレお風呂でいつも困る。・合併症が多く、通院が多い（遠くの病院につきそっていく為負担）。階段しかないところの移動は本人も大変。ふみはずさないよう集中して昇降するので大変。  私一人ではできない部分が多い  本人の体格が大きいのでやはり本人を移動させるのに負担がものすごく大きいです。それにプラスして本人の気分にムラがあるので、もっと負担が増えています。　睡眠障害で寝つきも悪く、眠りが浅いので、就寝時間中でも介護が必要。精神障害もあり、なかなかレスパイトでショートステイが使えない  安心して活動できる場所が少ない。入浴や食事に各1時間はかかるから  手、腕、指の痛み・ヒザの痛み、介護の日数、時間が多いと痛みが強くなる  重度肢体不自由（車いす使用）の為、全介助が必要  何をするにも全介助なので、子が成長し身長、体重共に大きくなると親は老化で自分の体もあちこち具合が悪いのに、身体介護は負担である。  子もいつまでも親離れできず、精神的にも幼いまま体が大きく介助しきれない  車いすからの移乗、入浴介助など身辺介助全般  腰痛があるため  介護者の体力（力仕事がむずかしいこと・足の運びがこわばり、ふらつき、なめらかでないこと・速くないこと‣睡眠が充分取れない事・目や耳の機能が低下してきていること  両ヒジ腱鞘炎の為、立ち上がりの介助が困難。食事も時間がかかる為つらい  日毎の回数を重ねてくると、負担に感じることもある  四肢マヒの為屋内、屋外移動は介護が必要　・入浴は高齢の親の介助では無理です。事業所から週2回入ってもらっているが、回数不足。・排泄、器に一人ですわることが出来なくて、介助が必要・レジャーやレクリエーション等社会参加は、ほとんど外出なので介助が必要。  車いすへの移乗。入浴時の浴槽へ抱えて入れること。水分補給は２人がかかりでないとできないこと。便器への移乗、受診する時体力的に年々負担感が増してゆく感じです。  当事者と介護者の体格がほぼ同じなので主たる介護者の加齢のより、体力的に自信がなくなってきている。移動、着替え食事など全介助なので年々不安が増している。  車イス自走できない。・精神が不安定  重い外出用車イスを押して移動しなければならない。ふみきりはこわくてわたれない。　中腰でシャワー浴を介助しているが、足を持ち上げて洗ったりすることが多く、介助中腰に痛みを感じている。　排便コントロールがうまくいかず、またトイレでの介助拒否があり、毎回つらい。　なかなか外出することができず、どこに連れていっていいのかもわからず本人も楽しむことができていない。一人でつれてでかけて、なにかあったらと思うと遠出することも不安。　訪問診療、リハビリ病院、専門外来、それぞれ主治医がいるが意見が異なった時など、どの先生に従うべきなのか、わからず不安にもなる。  荷物（ペットボトル）をたくさん持って歩くこだわりがあって、とても重く、歩くのはもともと遅いので、トイレの時間も長く、移動の時間は通常の3倍程かかるため。本人は色々な外出を楽しめます。  常に見守りが必要。全介助・・・今は父親が一緒に入っている。・自発的に行かない時がある。声賭けもしているが時々失敗している。・待合室でじっとしているのがのが苦手  全ての介助を1人でしなければいけない。　トイレ以外での排便、すいみん障害、多動、こだわり、声出しなどが屋内、屋外すべてのことで負担となる。  24時間、365日、常に自分一人で出来ないので、その都度世話をする  屋外の移動、レクリエーション、レジャーの場合、病気の性質から突然意識を失い、倒れてしまうので、危険なのでほぼ付き添っている。入浴は、中で発作を起こして意識を失った場合、おぼれてしまうので常に音を聞いて、声を掛けている。1人の時に入浴させた事がない。　医療に関しては、発作時の状態の説明は必ず医師にする事と、薬の効果の状況、生活の様子の報告も必ずある。  薬の管理、医療証等の申請手続きなど、母親がやって当然になってい。最近は長男にも手伝ってもらいながら、覚えてもらってはいるが、基本的にはすべて母親。  本人は１人で外出できないので、必ず付き添いがついて、車を運転しないといけないのが、年とともにヒザや目が悪くなり、運転が疲れ、負担になってきた  本人がすぐに動くので落ち着いて食事ができない。常に介助がいるので体調（私の）が悪い時は疲れる。力が強くなってきたので、力負けすることがある  夜中に何度も起きて動き回るので、安全を確保するために何度も起きて寝不足、夜中の見守りは負担がある  自動車を保有できないので、公共施設機関しか使用できず、その中で、寄声を発したり落ち着かないことがある為外出しづらい  長距歩行が難しいので常に車（自家用車）での移動となる。Pのある場所も限られ行動範囲が広がらないので、電車やバス利用が難しいので。（すぎ丸のみ利用）・片麻痺にて、バスタブの跨ぎ介助、洗髪、洗体介助の必要があるので。PT、OT、ST全てを時々自宅で行うが知的障害もあるのでスムーズに回数をこなせない。　休日の過ごし方について…行動範囲が広がらないので  自家用車で行動しますが、不安定な時もたまにあるので、周囲の方々に気をつかったりする事もあります。外出の時は、スケジュールうぃ事前に伝えておいて、スムーズに行動出来るようにしていますが、慣れた場所でも声出しや興奮する場合もあるので、気疲れする日もあります。また当事者は男ので、父親が同伴の時はトイレうぃ介助してもらいますが、母親のみの場合は短時間で帰宅出来る様にしています。　・このところは土曜日はSTAY　HOMEですが、日曜日は近隣へお買い物に出かけています。以前は土・日ともに遠出をして、美術館等当事者の好きな場所へ車で出かけていました。やはり人の多いところは苦手なので、こちらも気疲れすることが多かったです。まだ学生の頃にやっていたスイミングやスポーツ教室、登山は成長するにつれ、環境も変わり、残念ですが、体を動かす機会がなくなってしまいました。  歩行時ふらつきが多いため、階段昇降や段差のある道路を歩く時は必ず体をささえることが必要。転倒の危険が大きい。　疾患により舌を上手に使えない為、食べ物をそしゃくする能力がなく、固いもの、食物繊維の多い食べ物については必ずミキサーにかけて食べやすくする必要がある。　尿意、便意はあるものの、排便については、自分で始末することできず、必ず介護者を必要としているため。  行動パターンが読めない。1人で身辺自立していない  体が巨大なので支えきれない。こだわりがいろいろあるので対処が大変、大人なのでごまかしがきかない。痛風なので食事制限したいが食べるのを止められない  1人で何かをする（本を読んだりなど）事ができないので常に家族の誰かが相手をしなくてはいけない  ・屋外の移動ではきげんが悪い時ギャーギャーさわぎながら走って行ってしまいます。そのような状態の時は走っている自転車や自動車に対する注意が更に弱くなってしまうのでかなり危ないです。こちらも一生懸命追いかけますが、とても追いつくことは出来ません。　・排便では排便後ふきとりができないので、こちらがふきとる事が必要です。　・医療では診療を待つのも難しいですが、なによりかんかく温びんかひどく耳の中をみたり、採血ができなくて困っています。  歯のケアを母にやらせない。又マッサージ等もやらせない  屋外で、一人でどこかへ行ってしまわないよう、手をつないで歩く。入浴時には遊んだりしないように気をつけながら、身体を洗わなくてはならない。レクリエーション・レジャーはすべて、計画し、同行しなければならない。　4医療は本人がとても嫌うので、受診し難い。  屋外の移動→（一つ一つの動作が遅いので、時間通りの行動が難しい。すぐ迷子になるので目が離せない）　・排泄→排便時の介助が必要。1日複数回排便がある。　・機能訓練→あまり好きではない事なので無理強いすると怒ってしまう。　・レジャー→感情の上下が激しいので怒り出すと周囲に迷惑がかかる　・医療→注射が苦手、初めての処置（心電図など）が苦手で暴れる。  知らないところへの移動は1人ではできないので少し負担がある。  医療機関へは一人で行けないので、ついて行かなければならない為  行動障害を持っているため、大変  常動行動があり目が離せない（危険回避ができない）。  持ち上げるのが大変・全て介護者が体力と力を使わないと何も進まないため、体がきつい・体のあちこちが痛くなる。・着替えも持ち上げたり、力を使う作業が多く  休日の時など外出はさせてあげたいと思いつつ。こちらの体力がなく連れて出られない。・毎日の運動等をコンスタントに続けることが、こちらの体力、気力不足でできない・通院も予約・採血・薬など一日がかりになり、負担が大きい。体調の見きわめにかなりの気を使っている。・排泄等も自分だけだと、ふき残しや、汚すこともあったり、その後の着衣の乱れのなおしなど、目をはなすことはできない。  成人後は体が大きくなり力も強くなって、母親の力では制止がきかなくなった。母親は長年の介助の積み重ねで腰も悪くなり、入浴や排泄など日常の介助も負担が大きく感じるようになってきている  本人は知的にも障害があり、何も理解できないので、母親である私がすべて担うことになっているので、年齢が（自分の）高くなってきて、とても、きつくなってきた  最近、年々、体力のおとろえを感じてきて、特に足を使って行う介助作業が負担になる時が増えてきました  本人との意思確認が困難。（話があまりできないため）　歩行に難ありのため  言葉で伝える事が出来ないため、本人の意向を正しく、組みとることがむずかしいため。  身体の痛みの訴えが多く、移動が困難な場面が有る。又短期記憶が入りづらくなり、入浴、食事を忘れてしまう事が増えてきているため  身体機能維持を保つことについて  突発的な行動、こだわりがいろいろとある、時間がかかる、何度も声かけ促しが必要、周囲に気をつかう  介護者に持病があり、足の痛みがあるので(歩行)、当事者の生活の介護が厳しくなってきています。  外出時は、ヘルパーさんに同行して頂いているが、コロナ禍の自粛でヘルパーさんの確保がより難しくなっていて外出ができなくて困っています。当事者、介護者ともに高齢化してきているので、居宅介護を(家事援助、入浴介助)移動支援で利用できるようにしてほしいです。例えば、当事者が40才以上などの新ルールをつくる、または、居宅介護の申請をもっとゆるくしてほしいです。  一人では出来ず必ず私が手伝うため。例えばお出かけも私が付き合わなければならない  言葉が理解できず、足が悪い為移動に時間が掛かる。入浴排泄は自立している時と手が掛かる時が有り、少し負担が有る。耳が悪いので言葉の訓練や無呼吸症なので夜中の呼吸に気を使う。病院の受診料が多くかなりの負担が有る。  野外の移動～ひとりで外出を楽しむことは出来ないので、家族又はヘルパーと共に外出しなければならない。が、ヘルパーさんの時間の確保が難しい。安心安全に通院できる医院がみつかっていない。(杉並区内）現在通っているところは遠いので通院するのが大変である。  入浴の際の見守りが必要  医療→1人での通院が出来ないので必ず付き添いが必要。  外出等一人ではしないため色々な面で介助が必要  本人が行きたい、やりたいといってもつきそうのに時間的、体力的に厳しいことがある。休日自分でやることが見つからずごろごろしている時、本人がやりたいことを見つけるのがむずかしいことがある。  一人では外出できないので付き添いが必要になる。一人では洗い方などが不十分になってしまう。やり方が分からない事がある。行ける所、出来る事が限られてしまう。必ず付き添いが必要になってしまう  他人が気になる病気で一人ではレジャーなどに行けない。病気が軽くなく、なかなか治らない。医者を自分で探せない。本人が全くと言いほど出来ないので、私も病人のため大変だ。  心配性に強く、対応に苦労する  負担無し。但し医療機関に行くことを進めてもなかなか行かない。  情緒が乱れがちで高揚しやすいため。ひとりでまだお風呂に入れない。  本人のやりたいことと、わたしのやらせたいことが違ったり、何をするかどこでするかの情報がない。  言葉の理解能力がないので。  階段の移動や段差は手をつないだり、入浴はシャワーの調整ができなかったり、自分で体をよく洗えない。排泄では、整理の手当てがよくできない。排便ではよくお尻が拭けなかったりでパンツが汚れてしまう  通院への移動。移動支援でヘルパーさんと土・日曜日は屋外の移動を行っていますので安心です  自力で外出の移動ができない。ごく近所なら自力で歩いていきます。移動支援をお願いしている  何事にも好き嫌いがはっきりしていて、他者に攻撃的、支配的になることがある  ・歩行が疲れるので、連れて歩くことが負担である。・こだわりが強く一つ一つに時間が掛かるので待っている時間のロス減、又風呂では、暑かったり寒かったりと母の体調に負荷  肢体にも障害がある為、足元に気をつけたり、入浴は一緒に入り見守り、不十分なところを手伝う。  歩くのが早いため、先に行かれてしまうと追いかけるのが大変。出かけなければいけない時などは、こだわりが多く時間もかかり、精神的にも負担が多きい。アトピーの為毎日何種類も全身に塗らなくてはならない。  散髪に行きたがらないので自宅で切っている。年々体力も落ちてきているので、色々な事が負担に感じるようになってきているが、移動支援も使いづらい  屋内・屋外の行動については当事者の体が大きくなったので、支えることが大変です。医療については、来院する際、駐車場が病院内や近くに無いため、自力で（自家用車）で通うことが大変難しい。バリアフリーが進んでおらず、車イスのため大変苦労する。車イスでは診察がむずかしく（院内に入ることがむずかしく）、断念し、車で1時間かけて、病気の主治医まで通ったことが何度かある。スロープや手すりは今や必須です。  食事の準備、片付け、食べ残しの処理　・睡眠中の失禁（着替え、洗濯等）  体が大きくなり、抱き上げたりするのが大変（リフトなどは無い）  介助者なしに屋外を移動した経験は無い　食事・入浴・排泄等全てにサポートが必要。  私（母親）も主人も高齢になり、移動時などや、負担に感じます。  どんな時も必ず、親の手助けが必要です。屋外などでも、パニックがあるので、心配です。  私がガンの治療中なので、外出するのが難しい。外出関係などは夫がしている。  ひざが悪くなった為、歩く事や移動に負担がある。腰痛のため、介護がつらい時がある  ・ウォーキング等、以前のように一緒に歩く事が大変になってきた。・体力的に大変になってきた。通院等に負担を感じる  本人は昨年（2019）9月まで母と二人暮らしでした。家庭内転倒事故により母が入院したため、近隣に住んでいた私（兄）が本人の生活援助のため同居することとなり、今日に至っています。私も仕事をしながらのケアですので、本人の食事の用意、片付けや屋外の活動参加への帯同には少し負担感があります。要介護３の判定をうけている母の入院生活も長期化していて、特養の申し込みをしていますが、なかなか声をとりあげてもらえず、経済的にも精神的にも徐々につらくなってきています。（ＣＯＶＩＤ-19の影響も大きいと思います）  ・持病が複数あり、病院も数か所に通院のため、通院や検査も大変で服薬も数も多く負担である  病院がよいが多い、心疾患なのでいつなおるのか不安。入浴の時にかみがよく洗えず困っている。  失敗することがあります。  切り分けが必要。自立ができていないので。親の体力低下のため。言語がないので、コミュニケーションが困難  移動時に関して通勤以外で付き添いが必要。入浴も仕上げの介助が必要。排泄も場合により介助を伴う。  仕事をしているので、入浴介助などが負担です  生活上すべてのことをひとりで出来ません。介護をする母親の体調が悪く負担が重いです  ・外ではウロウロと自分のスペースで歩いたり、他へそれてしまったりする。・入浴ではきれいに洗えない。排泄は、大の時に良くふけていない　・病院へは必ずついていかなければいけない。等  通院・外出。子どもの体が大きく重くなったため、腰や手足など日常的に酷使していて痛みを伴う。  呼吸管理のため。決まった所、慣れたルート以外は、１人で外出できない  言語指示がきかない |

１７．将来を考えた時の不安の内容

調査対象の当事者の将来に対する不安に関する意識調査では全ての項目に対して８０％以上が不安と回答した（表15、16、図13）

表15　将来を考えた時の不安の内容

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | とても不安がある | | 少し不安がある | | あまり不安はない | | まったく不安はない | |
| 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ |
| 親なき後の生活について | 211 | 67.2 | 55 | 17.5 | 12 | 3.8 | 6 | 1.9 |
| 金銭面に関して | 126 | 40.1 | 106 | 33.8 | 41 | 13.1 | 12 | 3.8 |
| 住む場所について | 161 | 51.3 | 77 | 24.5 | 29 | 9.2 | 18 | 5.7 |
| 現在の通所サービスが受けられるかについて | 119 | 37.9 | 111 | 35.4 | 37 | 11.8 | 9 | 2.9 |
| その他 | 23 | 7.3 | 5 | 1.6 | 0 | 0.0 | 1 | 0.3 |

図13　将来を考えた時の不安の内容

表16不安におけるその他の内容

|  |
| --- |
| ・１人の生活ができるか  ・あと３年で65歳以降になったときその事前準備など全く分からな  ・どうサポートしていくか、どう生きていくか  ・介護者の入院等緊急  ・健康面  ・健康問題  ・私の死亡後  ・自立生活の不足  ・親が病気になった時  ・親と離れられない  ・生活全般がすべて  ・全体的  ・適切な医療・介護が受けられるか（コロナ等病院のベッドが足りない等の時に、障害者だからという理由で命がトリアージされてないか。尊厳ある介護が受けられるかという不安。（高齢者））  ・内臓疾患悪化　歩行  ・入所できるか  ・入浴、食事、外出等通常の生活  ・本人の受け入れ  ・良い後見人をつけられるか  ・良い支援をうけられるか  ・ＧＨが入所で受け入れて頂けるか不安 |

１８．現在利用している通所サービス

現在利用している通所サービスに関して、生活介護は54.8％と半数以上が利用していると回答した。（表17、図14）

表17　現在利用している通所サービス

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 生活介護を利用している | 172 | 54.8 |
| 就労支援継続B型を利用している | 109 | 34.7 |

図14　現在利用している通所サービス

１９．通所サービス利用にあたり重視した項目

調査協力者の内、通所サービスを利用する際に重視する点に関して職員の対応に７割近くの方が重視したのに対して入浴ケアを重視しないと回答した者が７割以上いた（表18、19．図15）

表18　通所サービス利用にあたり重視した項目

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | とても大事にした | | 大事にした | | あまり大事にしなかった | | 大事にしなかった | |
|  | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ |
| 送迎 | 117 | 37.3 | 50 | 15.9 | 42 | 13.4 | 39 | 12.4 |
| 入浴ケア | 24 | 7.6 | 37 | 11.8 | 32 | 10.2 | 90 | 28.7 |
| 食事ケア | 56 | 17.8 | 101 | 32.2 | 30 | 9.6 | 42 | 13.4 |
| 排泄ケア | 60 | 19.1 | 86 | 27.4 | 34 | 10.8 | 44 | 14.0 |
| 機能訓練 | 53 | 16.9 | 86 | 27.4 | 44 | 14.0 | 36 | 11.5 |
| 外出支援 | 65 | 20.7 | 104 | 33.1 | 41 | 13.1 | 24 | 7.6 |
| レク | 72 | 22.9 | 136 | 43.3 | 35 | 11.1 | 10 | 3.2 |
| 作業内容 | 87 | 27.7 | 140 | 44.6 | 29 | 9.2 | 6 | 1.9 |
| 工賃 | 26 | 8.3 | 64 | 20.4 | 105 | 33.4 | 48 | 15.3 |
| 建物の広さと環境 | 88 | 60.5 | 132 | 25.2 | 32 | 2.2 | 7 | 0.3 |
| 職員の対応 | 190 | 60.5 | 79 | 25.2 | 7 | 2.2 | 1 | 0.3 |
| その他 | 19 | 6.1 | 15 | 4.8 | 1 | 0.3 | 4 | 1.3 |

図15　通所サービス利用にあたり重視した項目

表19　重視したその他の内容

|  |
| --- |
| 職員とのコミュニケーション  職員の方同士の関係性  食事の提供  全体として  全体的  通所の楽しさ  通所回数がまだ少なく、まだわかりません。  本人の障害特性への理解 |

２０．通所サービスの満足度

調査対象者に対して、現在の福祉サービスに対して、全ての項目に対して８割以上が満足していると回答した（表20、21、図16）

表20　通所サービスの満足度

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 満足 | | やや満足 | | やや不満 | | 不満 | |
|  | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ |
| 送迎 | 143 | 45.5 | 44 | 14.0 | 16 | 5.1 | 3 | 1.0 |
| 入浴ケア | 36 | 11.5 | 32 | 10.2 | 6 | 1.9 | 6 | 1.9 |
| 食事ケア | 118 | 37.6 | 66 | 21.0 | 10 | 3.2 | 0 | 0.0 |
| 排泄ケア | 101 | 32.2 | 70 | 22.3 | 10 | 3.2 | 0 | 0.0 |
| 機能訓練 | 69 | 22.0 | 70 | 22.3 | 18 | 5.7 | 4 | 1.3 |
| 外出支援 | 77 | 24.5 | 80 | 25.5 | 18 | 5.7 | 8 | 2.5 |
| レクリエーション | 104 | 33.1 | 94 | 29.9 | 28 | 8.9 | 10 | 3.2 |
| 作業内容 | 100 | 31.8 | 120 | 38.2 | 23 | 7.3 | 4 | 1.3 |
| 工賃 | 67 | 21.3 | 108 | 34.4 | 36 | 11.5 | 7 | 2.2 |
| 建物の広さや環境 | 105 | 33.4 | 116 | 36.9 | 29 | 9.2 | 9 | 2.9 |
| 職員の対応 | 167 | 53.2 | 84 | 26.8 | 15 | 4.8 | 4 | 1.3 |
| その他 | 13 | 4.1 | 15 | 4.8 | 1 | 0.3 | 1 | 0.3 |

図16　通所サービスの満足度

表21　満足度に関するその他の項目

|  |
| --- |
| 職員とのコミュニケーション  職員の方同士の関係性  食事の提供  全体として  全体的  所の楽しさ  通所回数がまだ少なく、まだわかりません。  本人の障害特性への理解 |

２１．不満、やや不満の理由

不満と回答した方の理由に関して、幅広様々な声が上がった（表22）

表22　不満、やや不満の理由

|  |
| --- |
| ・一人一人に適切な対応をしてほしい。職員が定着せずどんどん人がかわってしまい子供に対する態度に問題があると思われる  ・楽しい事ももっとあるといいなと思います。  ・グループホームから片道１時間４０分かかります。暑さに弱いですし体力が続くのか不安です。　フィットネスや音楽療法等本人が楽しめる選曲ではない場合も多くあり参加出来なくなってしまうようです。  ・職員で退職者が多くベテランの方がやめられると不安です。職員さんに福利厚生を整えていただくことが利用者のためにもなります。施設での余暇活動を充実してほしいです。  ・時間外昼食時間。理解できない。おもらし多い（急に）  ・野外仕事上、身体疲労面で加算していただきたい  ・送迎のワゴンに乗車させてもらってない。時々お願いしてみるがいっぱいとことわられている。　職員が次々に入れ替わり定着しないことから引きつぎも充分でなく本人もコミュニケーションが取れていないように感じる  ・レクレーション活動には参加していない  ・レクリエーションのバラエティがもっと欲しい  ・入浴ケアはない。食事の内容が全てやわらかい物になっている。トイレが使いにくい  ・建物が古く、出入り口等に頭をぶつける。  ・送迎、自宅の前の道を送迎バスが通るが、自宅前には停まってもらえないため  ・もう少し工夫すれば今以外の活動や魅力的な商品が作れると思う  ・建物が古くトイレが使いにくい  ・毎年行なっていた宿泊も年に1回になってしまい残念。社会見学も以前は好きな場所へ連れて行って下さった。今、GHに入居しているので通所の様子がよくわからずもうすこし家庭と連絡して、共有してほしいと思う時があります。  ・人数が多いので密になりやすい  ・建物や設備が古くなってきていて衛星面などに不安を感じる  ・建物が古いこと  ・バスポイントまで遠い  ・建物の老朽化⑪個人によって対応能力の差がある  ・バス大型化に伴いバスポイントが遠のいたこと  ・入浴設備がない  ・作業内容が単一で選択肢が少ない  ・最近入れていただいたので、人数を増やした側ではありますが…建物に対して利用者さんが多く密であり、また、他利用者の大声などはやはりにぎやかだとは思います。  ・建物の中を見たことがない。（コロナ禍で通所場所が変わってしまった）　・職員（現場の）とコミュニケーションをほとんどとったことがない。  ・駅から送迎しかない。年に1回は泊まりの旅行に連れて行ってほしい。  ・職員の態度が利用者の気持ちによりそっていない  ・コロナ対策もあるので仕方がないが暑い日はクーラーや扇風機を活用して換気と温度調整してほしい。衛星品・の再利用等、衛生管理に不安がある。　・事業所の努力だけでは難しい場合は区からも備品の支給や補助などサポートして頂きたい。  ・さらなる充実を求む  ・当初は送迎が可でしたが、途中から不可になり介護者が送迎している  ・元来、現在通わせている施設に入浴ケアサービスは無い。法人が人手不足や職員の能力不足を理由に外出支援に消極的。重度の利用者が多いにも関わらず、活動は作業中心で、楽しいと思えるようなレクリエーションが少ない。  ・何よりも職員の定着。そしてスキルの向上を願っている。中には熱心な職員もいるが、なかなか定着してもらえない。  ・実際にどのような支援がなされているか、よくわからない。このような施設・サービス事業所は、人材不足などでどこも同様の問題を抱えている。・利用者のためのスペースを広げて頂きたい。  ・阿佐ヶ谷福祉工房に入った時は先生達が温かく一生懸命受け入れてくれた。その後方針が変わり、経営者が考えの違う人は出ていけという方針なので、皆辞めていって、その後スタッフがつかない。異動もひんぱんにあり、よい人がきてもいなくなる。しょっちゅう人が変わって1年もいない人が多い。よい人が長くいられるようになればよいです。  ・けがやパニックなど、起きる前の様子を見ていけば防げることが多いはず。対処の仕方もあると思う。よく見てほしい・時間があまりないが（作業中心で良いと思っている）  ・すべてにおいて利用者本位で考えてくれていないと思う。又公平なサービスがされていない。（ｅｘ外出支援があるグループと無いグループがあったり）  ・製菓としてやっていたのが、職人の不在、職員の移動が出来なくなり、そのままの状態で今日まできている。（せっかく出来る様になったのにつづけてほしかった）  ・以前と比べて外出の機会がとても少ない  ・作業内容が安定していない  ・外に出ることが好きなので回数が少なくなっていることは残念の思う  ・入浴ケア…回数が少ない  ・完食できず、帰ってくることがあったり、持っていったカバン内が乱雑に帰ってくる  ・工賃がないので少しでもあると本人の楽しみになると感じる。でも大きな不満ではない。あるといいなという程度。サービスにはとても満足している。  ・胃ろうからペースト食の注入をしてもらえない事  ・生活介護での作業に工賃が発生しない。　利用者も人数や多様性に見合ってない  ・人員の確保や質が不安である  ・職員不足で外出がない  ・人手不足やいろいろな要因で思うような形になっていないと思います。  ・工賃はほとんどない  ・職員がすぐにやめてしまい、なかなか技術ｕｐがむずかしい。レクの内容がとぼしい。　地域理解の多、目の地域交流が少ない  ・期間内で工夫して行われていると思いますが、もう少し訓練の場面、時間帯が欲しいところです。  ・自宅に帰って来た時の送迎がなし  ・利用できていない　評価に時間がかかる  ・入浴回数の不足　・肢体不自由者は機能訓練が大切。不足です  ・リハビリ病院の医師のアドバイスを聞き入れてくれない  ・バス旅行など外出する機会があると良いと思う。コロナの影響で本人が出来る仕事が少なくなってしまった。　利用者が増え、少し手狭に感じる  ・多動なので狭い。　外出に際し、介助の人数が少なく迷子になってしまった  ・レクリエーションを、入社時の様に外出希望です  ・お誕生日会や季節のイベント（お花見）は良いと思いますが、その他の内容が体操やカラオケが多く、本人はあまり参加したがらない  ・部屋がもう少し広ければ、落ち着いて作業が出来ると思う  利用者人数の割のは少し狭いと思う  本人にむいていないかもしれない  通所5年目で利用者が2倍（30人位）に増え、とてもスペースに余裕がないです。他の人の声に反応に声出しがあったり、作業も単調すぎて、創作活動等実施してほしいと思います。レクリエーションも少ない感じがします。(生活介助なので控え目なのかもしれないが）事業所がまだ若いので、これから成長してかわる様、期待しております。  所内せまい。それぞれの設備が足りない。昼食が～弁当なのでカロリーが帰任ります。今の時代にしてはあまりにも雑然としすぎる。ビフォーアフターにリフォームをお願いしたらどうでしょう  工賃は毎日通っているのに1万円少しでは少ない  送迎時間が片道1時間半と長い。作業そのものが少ない。工賃が低い。  作業所の面積が利用者数のわりに狭い  ・もう少しレクリエーション（外出、遠足など）があると良い。　・工賃は仕方ないが少ない  ・集団行動に参加出来ない  ・活動内容をオープンにしてほしい（写真お便り）  ・利用者の対応がさまざまで、外出やレクリエーションを楽しむ時間まで職員の対応が追いついていない。企画・実行される機会が少ない  ・作業所内の様子を伺い知る事が難しい  ・通勤費の全額補助にして欲しい  ・仕事の能力が低いので工賃額が少ないのは当然ですが、給食費として消えてしまい手元には残りません。将来のための貯金ができません。  ・3密を避けられる広さではない  ・他に比べ工賃が低い  ・工賃が１５円以下の場合が多い。建物がややせまい  ・他の作業所と比べて安いのでは？  ・本人との言葉のコミュニケーションが取れないため、親との連絡が大切になってくるのですが、職員の入れ替わりが多いのでなかなか伝わらない。引き継ぎが悪い  ・レクリエーションが少なくなってきた  ・作業所の運営上致しかたなし  ・作業所の作業時間にそぐわない、送迎時間の設定になっている  ・現在は元気で、体力もあるので階段も大丈夫だが、3Ｆ建てなのでケガをした時など考えると心配  ・外出支援はまだおこなっていない  ・仕事が減ってきている様だし、通所者に出来る内容が少なくなっているようで、仕方ないかなとも思いますが、お小遣い程度はあっても良いかと・・・  ・工賃は、本当に少ない。他の所に通所するお友達に聞いても少ないと感じる。  ・今後の事を考えると生活出来るだけの収入をと思います。  ・今のところ月の携帯電話料金の半分しか払えません。  ・入浴・機能訓練のサービスは行われていない。外出は運動の機会が少ない  ・職員が本人に対して顕著に嫌な態度をとるため  ・作業内容や工賃は、本人にも問題があるので、しょうがないと言えば、しょうがないのですが・・・  ・仕事の内容が単調。　・工賃が低い  ・昨年11月新設部所時に入浴希望。6月に至っても未実施  ・個々の利用者に理解できる程ゆっくりした時間と指導力が足りずてっていされていないように見受けられる。このような不満を申し上げた時通所サービス分野は教育現場ではない。出来上がっていることが前提だといわれたという親がいたが理屈としては正しいが考え直す必要あるのではないか |

２２．通所サービス時間外に困っている内容

通所サービスを利用していない時間での困っている内容として、半数が回答したものとして、「レクリエーション」と「屋外の移動」が挙がった（表23、24、図17）

表23　通所サービス時間外に困っている内容

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | とても困っている | | 少し困っている | | あまり困って  いない | | 全く困って  いない | |
|  | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ |
| 屋内の移動 | 8 | 2.5 | 65 | 20.7 | 102 | 32.5 | 86 | 27.4 |
| 屋外の移動 | 45 | 14.3 | 111 | 35.4 | 71 | 22.6 | 41 | 13.1 |
| 入浴 | 28 | 8.9 | 91 | 29.0 | 81 | 25.8 | 63 | 20.1 |
| 食事 | 11 | 3.5 | 78 | 24.8 | 108 | 34.4 | 70 | 22.3 |
| 排泄 | 15 | 4.8 | 91 | 29.0 | 86 | 27.4 | 69 | 22.0 |
| 機能訓練 | 23 | 7.3 | 61 | 19.4 | 81 | 25.8 | 59 | 18.8 |
| レクリエーション | 42 | 13.4 | 89 | 28.3 | 94 | 29.9 | 35 | 11.1 |
| 医療 | 24 | 7.6 | 91 | 29.0 | 107 | 34.1 | 41 | 13.1 |
| その他 | 3 | 1.0 | 9 | 2.9 | 9 | 2.9 | 10 | 3.2 |

図17　通所サービス時間外に困っている内容

表24　困っているその他の内容

|  |
| --- |
| お金の管理  時々  全体的  騒音  着替え |

２３．今後必要なサービス

今後の当事者の支援のなかで必要と感じるサービスのなかで、入浴ケアを除く全ての項目に対して７割以上が必要であると回答した（表25、26、図18）

表25　今後必要なサービス

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | とても必要 | | あると良い | | どちらでも良い  （必要ない） | |
|  | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ |
| 送迎 | 163 | 51.9 | 57 | 18.2 | 36 | 11.5 |
| 入浴ケア | 75 | 23.9 | 69 | 22.0 | 84 | 26.8 |
| 食事ケア | 101 | 32.2 | 75 | 23.9 | 61 | 19.4 |
| 排泄ケア | 107 | 34.1 | 62 | 19.7 | 65 | 20.7 |
| 機能訓練 | 96 | 30.6 | 96 | 30.6 | 42 | 13.4 |
| 外出支援 | 143 | 45.5 | 95 | 30.3 | 20 | 6.4 |
| レクリエーション | 138 | 43.9 | 104 | 33.1 | 19 | 6.1 |
| 作業内容 | 136 | 43.3 | 93 | 29.6 | 14 | 4.5 |
| 工賃 | 73 | 23.2 | 118 | 37.6 | 45 | 14.3 |
| 建物の広さや環境 | 151 | 48.1 | 93 | 29.6 | 12 | 3.8 |
| 職員の対応 | 227 | 72.3 | 37 | 11.8 | 3 | 1.0 |
| その他 | 18 | 5.7 | 2 | 0.6 | 2 | 0.6 |

図18　今後必要なサービス

表26　必要なサービスのその他の内容

|  |
| --- |
| グループホームに入所している  医療的ケア  自立訓練体験  障害特性への理解  情報を得ること  情報交換  職員への相談  職員への相談  食事の提供  全体的  体力増進  入所施設 |

２４．介護保険の利用

当事者の介護保険に利用に関して、31.2％が介護保険の対象ではないことで利用していないと回答した（表27、図19）

表27　介護保険の利用

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 利用している | 13 | 4.1 |
| 利用していない | 164 | 52.2 |
| 介護保険の対象ではない | 98 | 31.2 |
| 欠損値 | 39 | 12.4 |
| 合計 | 314 | 87.6 |

図19　介護保険の利用

２５．介護保険を利用している際の要介護度

介護保険を利用していると回答した者の要介護度にはばらつきがあることが読み取られた（表28、図20）

表28　介護保険を利用している際の要介護度

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | パーセント |
| 要支援１ | 2 | 16.7 |
| 要支援２ | 1 | 8.3 |
| 要介護１ | 3 | 25.0 |
| 要介護２ | 1 | 8.3 |
| 要介護３ | 2 | 16.7 |
| 要介護４ | 1 | 8.3 |
| 要介護５ | 2 | 16.7 |
| 欠損値 | １ | 8.3 |
| 合計 | 13 | 100.0 |

図20　介護保険を利用している際の要介護度

２６　利用している介護サービス

介護保険を利用していると回答した者の利用しているサービスにおいて、短期入所が最も利用されている（表28、図21）

表28　利用している介護サービス

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | パーセント |
| 訪問介護 | 4 | 30.8 |
| 訪問看護 | 3 | 23.1 |
| 訪問リハビリテーション | 5 | 38.5 |
| 訪問入浴 | 3 | 23.1 |
| 通所介護 | 9 | 69.2 |
| 通所リハビリテーション | 5 | 38.5 |
| 福祉用具 | 4 | 30.8 |
| 特定福祉用具販売 | 3 | 23.1 |
| 短期入所 | 10 | 76.9 |
| グループホーム | 1 | 7.7 |

図21　利用している介護サービス

２７．今後介護保険サービスを利用して欲しいか

介護保険を利用していないと回答した者を対象に、今後の介護保険の利用に関して調査したところ、「知らないので判断できない」と回答した者が最も多かった（表28、図22）

表28　今後介護保険サービスを利用して欲しいか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 介護保険サービスを今後利用して欲しいと思う | 34 | 20.7 |
| 介護保険サービスを今後利用して欲しいと思わない | 32 | 19.5 |
| 知らないので判断できない | 95 | 57.9 |
| 玄関先まで送迎してくれるから | 20 | 12.2 |
| お風呂に入れると聞いたから | 16 | 9.8 |
| 当時者の体力的に今の作業内容がきつそうだと思っているから | 9 | 5.5 |
| その他 | 14 | 8.5 |

図22　今後介護保険サービスを利用して欲しいか

２８．介護保険サービスを利用して欲しくない理由

介護保険サービスを利用して欲しくない理由として、最も多かった内容として「今のところで当事者が慣れていること」が理由として上がった（表29、30、図23）

表29　介護保険サービスを利用して欲しくない理由

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 何をしているところかわからない | 7 | 21.9 |
| 今のところで当時者が慣れているから | 26 | 81.3 |
| 今のところで当時者が慣れているから | 16 | 50.0 |
| 今の通所事業所プログラムと変わってしまうから | 12 | 37.5 |
| 金銭的な負担が高くなるから | 4 | 12.5 |
| その他 | 6 | 18.8 |

図23　介護保険サービスを利用して欲しくない理由

表30　介護保険サービスを利用して欲しくないその他の理由

|  |
| --- |
| 今のところ作業所のみでい  障害が優先されないので  今は必要ない |

２９．利用できるのであれば、当事者に介護保険サービスを利用して欲しいか

介護保険サービスが使えるとしたら、当事者に介護保険サービスを利用して欲しいと思うかという問いに対し、20.4％が利用して欲しいと回答した（表31．図24）

表31　利用できるのであれば、当事者に介護保険サービスを利用して欲しいか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | ％ |
| 利用して欲しいと思う | 64 | 20.4 |
| 利用して欲しいと思わない | 25 | 8.0 |
| 知らないので判断できない | 57 | 18.2 |

図24　利用できるのであれば、当事者に介護保険サービスを利用して欲しいか

３０．家族で介護保険を利用している者がいるか

調査対象における、家族の介護保険利用者に関して18.９％が利用していると回答した（表32、図25）

表32　家族で介護保険を利用している者がいるか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | パーセント |
| 利用している家族がいる | 52 | 16.6 |
| 利用している家族はいない | 223 | 71.0 |
| 欠損値 | 39 | 12.4 |
| 合計 | 314 | Ⅰ00．0 |

図25　家族で介護保険を利用している者がいるか

３１．家族で介護保険を利用している者がいるか

当事者からみて利用している家族の続柄として母親が最も多かった（表33、図26）

表33　家族で介護保険を利用している者がいるか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | パーセント |
| 母親 | 27 | 51.9 |
| 父親 | 15 | 28.8 |
| 兄弟、姉妹 | 2 | 3.8 |
| 子供 | 2 | 3.8 |
| 祖父 | 9 | 17.3 |
| 祖母 | 16 | 30.8 |
| 配偶者 | 2 | 3.8 |
| その他 | 0 | 0.0 |

図26　家族で介護保険を利用している者がいるか

３２．介護保険のサービスに関する理解度

介護保険の具体的なサービスや種類に関する理解度に関して、多くの項目に対して半数が理解していないと回答した（表34、図27）

表34　介護保険のサービスに関する理解度

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | よく知っている | | 少し知っている | | あまり知らない | | 全く知らない | |
| 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ | 回答者 | ％ |
| 通所介護（デイサービス）の内容 | 49 | 15.6 | 128 | 40.8 | 54 | 17.2 | 43 | 13.7 |
| 訪問介護（ホームヘルプサービス）の内容 | 39 | 12.4 | 101 | 32.2 | 85 | 27.1 | 49 | 15.6 |
| 訪問入浴サービスの内容 | 41 | 13.1 | 87 | 27.7 | 85 | 27.1 | 57 | 18.2 |
| 通所リハビリ（デイケアサービス）の内容 | 33 | 10.5 | 93 | 29.6 | 92 | 29.3 | 53 | 16.9 |
| 訪問リハビリサービス内容 | 33 | 10.5 | 76 | 24.2 | 102 | 32.5 | 58 | 18.5 |
| 訪問看護サービスの内容 | 35 | 11.1 | 87 | 27.7 | 94 | 29.9 | 55 | 17.5 |
| 福祉用具サービスの内容 | 31 | 9.9 | 99 | 31.5 | 84 | 26.8 | 58 | 18.5 |
| 短期入所（ショートステイ）サービスの内容 | 57 | 18.2 | 123 | 39.2 | 55 | 17.5 | 39 | 12.4 |
| その他 | 2 | 0.6 | 5 | 1.6 | 6 | 1.9 | 12 | 3.8 |

図27介護保険のサービスに関する理解度

３３．共生型サービスの認知度

「共生型サービスの認知」に関して81.9％が「知らない」と回答した（表35、図28）

表35　共生型サービスの認知度

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | パーセント |
| 知っている | 52 | 16.6 |
| 知らない | 235 | 74.8 |
| 欠損値 | 24 | 8.6 |
| 合計 | 314 | 100.0 |

図28　共生型サービスの認知度

【通所サービスを利用していない障害当事者調査】

１．回答者の年齢

回答者の年齢について尋ねた結果、18歳～29歳が７人（43.8％）で、最も多かった（表１，図１）。

表１　回答者の年齢

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者数 | ％ |
| 18歳～29歳 | 7 | 43.8 |
| 30歳～49歳 | 6 | 37.5 |
| 50歳～64歳 | 3 | 18.8 |
| 合計 | 16 | 100 |

図１　回答者の年齢

２．身体障害者手帳、愛の手帳（療育手帳）、精神保健福祉手帳の所持

障害による手帳の所持について尋ねた結果、身体障害者手帳の所持が56.3%で最も多かった。（表2、図2）

表2　身体障害者手帳、愛の手帳（療育手帳）、精神保健福祉手帳の所持

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 身体障害者手帳 | 9 | 56.3 |
| 愛の手帳（療育手帳） | 7 | 43.8 |
| 精神保健福祉手帳 | 3 | 18.8 |

　図2　身体障害者手帳、愛の手帳（療育手帳）、精神保健福祉手帳の所持

３．身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の級について尋ねた結果、「1級」が37.5%で最も多かった。（表3、図3）

表3　身体障害者手帳の級

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者数 | % |
| 1級 | 6 | 66.7 |
| 2級 | 1 | 11.1 |
| 3級 | 1 | 11.1 |
| 5級 | 1 | 11.1 |
| 合計 | ７ | 100.0 |

図3　身体障害者手帳の等級

４．愛の手帳（療育手帳）の知的障害の程度区分

愛の手帳（療育手帳）の知的障害の程度区分について尋ねた結果、2度が31.3%で最も多かった。（表5、図5）

表5　愛の手帳（療育手帳）の知的障害の程度区分

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 2度 | 5 | 71.4 |
| 4度 | 2 | 28.6 |
| 合計 | 7 | 100.0 |

図5　愛の手帳（療育手帳）の知的障害の程度区分

５．精神保健福祉手帳の等級

精神保健福祉手帳の級について尋ねた結果2級、3級がともに6.3%だった。（表7、図7）

表7　精神保健福祉手帳の等級

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 2級 | 1 | 33.3 |
| 3級 | 1 | 33.3 |
| 欠損値 | １ | 33.3 |
|  |  |  |

表7　精神保健福祉手帳の等級

６．主な障害または疾患名

身体障害者手帳をお持ちの方に主な障害の種類または疾患名について尋ねた結果、「肢体不自由」が37.5%で最も多かった。（表8、図8）

表8　主な障害または疾患名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 音声・言語・そしゃく機能障害 | 1 | 14.3 |
| 肢体不自由 | 6 | 85.7 |
| 難病 | 1 | 14.3 |
| 結節性硬化症 | 1 | 14.3 |
| 脊髄小脳変性症 | 1 | 14.3 |
| 糖尿病 | 1 | 14.3 |
| 変形性関節症、股関節脱臼 | 1 | 14.3 |

図8　主な障害または疾患名

７．障害年金受給の有無

障害年金受給の有無について尋ねた結果、「受給している」が68.8%で最も多かった。（表9、図９）

表9　障害年金受給の有無

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 受けている | 11 | 68.8 |
| 受けていない | 4 | 25 |
| 無回答 | 1 | 6.3 |
| 合計 | 16 | 100 |

図９　障害年金受給の有無

８．障害年金の等級

障害年金の等級について、「1級」が37.5%と最も多かった。(表10、図10)

表10　障害年金の等級

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 1級 | 6 | 54.5 |
| 2級 | 3 | 27.3 |
| 欠損値 | 2 | 18.2 |

図10　障害年金の等級

９．一緒に暮らしている人

一緒に暮らしている人について尋ねた結果、「子ども」や「父親」が62.5%と多かった。（表11、図11）

表11　一緒に暮らしている人

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 配偶者 | 0 | 0 |
| 夫・妻 | 0 | 0 |
| 子ども | 10 | 62.5 |
| 父親 | 10 | 62.5 |
| 兄弟・姉妹 | 4 | 25 |
| 祖父 | 0 | 0 |
| 祖母 | 0 | 0 |
| 一人暮らし | 5 | 31.3 |
| その他（姉の子ども2人） | 1 | 6.3 |

図11　一緒に暮らしている人

１０．主たる介護者

主たる介護者について尋ねた結果、「母親」が50.0%と最も多かった。（表12、図12）

表12　主たる介護者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 父親 | 3 | 18.8 |
| 母親 | 8 | 50 |
| 介護を必要としていない | 3 | 18.8 |
| その他（ヘルパー） | 1 | 6.3 |
| 無回答 | 2 | 12.5 |
| 合計 | 16 | 100 |

図　主たる介護者

11．介護者の年齢

介護者の年齢について、「1級」が37.5%と最も多かった。(表10、図10)

表10　 介護者の年齢

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 40歳以上64歳以下 | 7 | 54.5 |
| 65歳以上74歳以下 | 3 | 27.3 |
| 欠損値 | 6 | 18.2 |
| 合計 | 16 | 100.0 |

図１０　介護者の年齢

１２．障害者の通所サービスを利用しようと考えたこと

障害者の通所サービスを利用しようと考えたことがあるかについて尋ねた結果、「利用を考えたことがあり、以前通所していたが、今は通所していない」が37.5%で最も多かった。（表14、図14）

表14　障害者の通所サービスを利用しようと考えたことがあるか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 利用を考えたことはない | 3 | 18.8 |
| 利用を考えたことはあるが、利用していない | 4 | 25 |
| 利用を考えたこと利用を考えたことがあり、以前通所していたが、今は通所していない | 6 | 37.5 |
| 無回答 | 3 | 18.8 |
| 合計 | 16 | 100 |

図14　障害者の通所サービスを利用しようと考えたことがあるか

１３．「通所サービスの利用を考えたことがあるが、利用していない」と答えた理由

「通所サービスの利用を考えたことがあるが、利用していない」と答えた方の理由について尋ねた結果は以下の通りである。（表15、図15）

表15　「通所サービスの利用を考えたことがあるが、利用していない」と答えた理由

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 医療的なケアがあるので対応できないと断られた | 0 | 0 |
| あなた（ご本人）の活動性が高いので対応できないと断られた | 0 | 0 |
| 定員がいっぱいで受け入れられないと断られた | 1 | 6.3 |
| 病状の変動が大きいので対応できないと断られた | 0 | 0 |
| 人材不足のため対応できないと断られた | 0 | 0 |
| 利用日程が合わないなどで対応できないと断られた | 0 | 0 |
| 送迎の問題で対応できないと断られた | 1 | 6.3 |
| 施設の構造上の問題で対応できないと断られた | 0 | 0 |
| その他（皆と一緒に食事ができないと困ると言われ断られた） | 1 | 6.3 |

図15　「通所サービスの利用を考えたことがあるが、利用していない」と答えた理由

１４．これから障害者の通所サービスの利用を考えているかについて尋ねた結果、「利用を考えていない」が56.3%と最も多かった。（表16、図16）

表16　通所サービスの利用を考えているか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 利用を考えている | 4 | 25 |
| 利用を考えていない | 9 | 56.3 |
| 欠損値 | 3 | 18.8 |
| 合計 | 16 | 100 |

図16　障害者の通所サービスの利用を考えているか

１５．「通所の利用について考えているか」の問いに答えた理由について、自由記述で尋ねた結果、以下の回答があった。

表17

|  |
| --- |
| ・外に出たくないから |
| ・介護者である父親の負担を軽減するため |
| ・家の外に出たくないから。養護学校等で怖い思いをし、それ以来、障害児・者、家族以外の大人も受け付けられなくなった。 |
| ・利用は考えているが本人能力に合う所が無く、場所や道も悪く一人で通うことが難しい。 |

１６．現在の生活の中で、それぞれについてどの程度困っているか

現在の生活の中で、それぞれについてどの程度困っているかについて尋ねた結果、以下のような回答があった。（表18、図17）

表18　現在の生活の中で、それぞれについてどの程度困っているか

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | とても困っている | 少し困っている | あまり困っていない | 全く困っていない |
| 入浴 | 2 | 4 | 4 | 4 |
| 屋外の移動 | 3 | 5 | 4 | 2 |
| 屋内の移動 | 2 | 4 | 3 | 5 |
| 食事 | 2 | 4 | 4 | 4 |
| 排泄 | 1 | 7 | 1 | 5 |
| 機能訓練 | 1 | 5 | 3 | 5 |
| レクリエーション・レジャー | 2 | 4 | 3 | 5 |
| 医療 | 1 | 4 | 5 | 4 |
| その他 | 2 | 3 | 0 | 3 |

図17　現在の生活の中で、それぞれについてどの程度困っているか

１７．介護保険の利用の有無について尋ねた結果、「利用していない」が87.5%で最も多かった。（表19、図18）

表19　介護保険の利用

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 利用していない | 14 | 87.5 |
| 利用している | 1 | 6.3 |
| 欠損値 | １ | 6.3 |
| 合計 | 16 | 100 |

図18　介護保険の利用

１８．利用している介護保険サービス

利用している介護保険サービスについて尋ねた結果、以下のような回答があった。(表19、図18)

表19　利用している介護保険サービス

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 訪問介護 | 1 | 6.3 |
| 訪問看護 | 1 | 6.3 |
| 訪問リハビリテーション | 1 | 6.3 |
| 訪問入浴 | 0 | 0 |
| 通所介護（地域密着型通所介護を含む） | 0 | 0 |
| 通所リハビリテーション | 0 | 0 |
| 福祉用具貸与 | 0 | 0 |
| 特定福祉用具販売 | 0 | 0 |
| 短期入所（生活介護・療養介護） | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 |
| 合計 | 0 | 100 |

図18　利用している介護保険サービス

19．介護保険の具体的なサービスを知っているか

介護保険の具体的なサービスを知っているかについて尋ねた結果、「まったく知らない」が56.3%と最も多かった。（表20、図19）

表20　介護保険の具体的なサービスを知っているか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 少し知っている | 3 | 18.8 |
| ほとんど知らない | 3 | 18.8 |
| まったく知らない | 9 | 56.3 |
| 欠損値 | 1 | 6.3 |
| 合計 | 16 | 100 |

図19　介護保険の具体的なサービスを知っているか

２０．介護保険の通所サービスを利用したいか

介護保険の通所サービスを利用したいかについて尋ねた結果、「知らないので判断できない」が43.8%と最も多かった。（表21、図20）

表21　介護保険の通所サービスを利用したいか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 利用したいと思う | 1 | 6.3 |
| 利用したいと思わない | 6 | 37.5 |
| 知らないので判断できない | 7 | 43.8 |
| 無回答 | 2 | 12.5 |
| 合計 | 16 | 100 |

図20　介護保険の通所サービスを利用したいか

２１．介護保険の通所サービスを利用したいと思う理由

介護保険の通所サービスを利用したいと思う理由について尋ねた結果、以下のような回答があった。（表22、図21）

表22　介護保険の通所サービスを利用したいと思う理由

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 玄関先まで迎えに来てくれるから | 0 | 0 |
| お風呂にはいれると聞いたから | 1 | 6.3 |
| 体力的に今の作業内容がきつくなってきたから | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 |

図21　介護保険の通所サービスを利用したいと思う理由

２２．介護保険の通所サービスを今後利用したいと思わない理由

介護保険の通所サービスを今後利用したいと思わない理由について尋ねた結果、「年齢層が離れているから」が25.0%で最も多かった。（表23、図22）

表23　介護保険の通所サービスを今後利用したいと思わない理由

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 何をしているところかわからないから | 2 | 12.5 |
| 今のところで慣れているから | 1 | 6.3 |
| 年齢層が離れているから | 4 | 25 |
| 今の通所事業所とプログラムが変わってしまうから | 0 | 0 |
| 現在利用している | 1 | 6.3 |
| 今は考えていない | 1 | 6.3 |
| 障害福祉と高齢者の福祉（ここでいう福祉とは求めていること）が全く違うから。障害者は高齢者になっても障害者です。 | 1 | 6.3 |
| 本人にとって現状の方が良い | 1 | 6.3 |
| 合計 | 6 | 100 |

図22　介護保険の通所サービスを今後利用したいと思わない理由

２３．共生型サービスの認知度

共生型サービスを知っているかについて尋ねた結果、全員が知らないと答えた。

【通所サービスを利用していない障害当事者家族調査】

1 回答者の障害当事者から見た続柄

回答者の障害当事者から見た続柄について尋ねた結果、以下のような回答となった。（表1、図2）

表1　回答者の障害当事者から見た続柄

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 母親 | 7 | 58.3 |
| 父親 | 4 | 33.3 |
| 無回答 | 1 | 8.3 |
| 合計 | 12 | 100 |

図1　回答者の障害当事者から見た続柄

２．障害当事者との同居の有無

当事者と同居しているか尋ねた結果、すべての回答者が「同居している」と答えた。

３．当事者の手帳の所持

当事者の手帳の所持について尋ねた結果、身体障害者手帳、愛の手帳（療育手帳）ともに50.0%だった。（表2、図2）

表2　当事者の手帳の所持

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 身体障害者手帳 | 6 | 50 |
| 愛の手帳（療育手帳） | 6 | 50 |
| 精神保健福祉手帳 | 1 | 8.3 |
| 合計 | 12 | 100 |

図2　当事者の手帳の所持

４．身体障害者手帳の等級

当事者の身体障害者手帳の級について尋ねた結果、すべての回答者が「1級」だった。

５．愛の手帳（療育手帳）の知的障害の程度区分

当事者の愛の手帳（療育手帳）の知的障害の程度区分について尋ねた結果、「2級」が33.3%と最も多かった。（表３、図３）

表３ 愛の手帳（療育手帳）の知的障害の程度区分

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 2度 | 4 | 57.1 |
| 3度 | 1 | 14.3 |
| 4度 | 2 | 28.6 |

図３ 愛の手帳（療育手帳）の知的障害の程度区分

６．精神保健福祉手帳の等級

当事者の精神保健福祉手帳の級について尋ねた結果、「2級」であることが分かった。

７．当事者が身体障害者手帳をお持ちの方に主な障害の種類または疾患名について尋ねた結果、「肢体不自由」「難病」が16.7%で最も多かった。（表４、図４）

表4　主な障害の種類または疾患名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 音声・言語・そしゃく機能障害 | 1 | 16.7 |
| 肢体不自由 | 2 | 33.3 |
| 難病 | 2 | 33.3 |
| 脊髄小脳変性症 | 1 | 16.7 |
| 結節性硬化症 | 1 | 16.7 |
| 統合失調症 | 1 | 16.7 |

図4　主な障害の種類または疾患名

８．当事者の障害年金の受給状況

当事者の障害年金受給の有無について尋ねた結果、すべての回答者が「受給している」と答えた。

4当事者の障害年金の等級について尋ねた結果、「1級」が50.0%と最も多かった。(表、図5)

表5　当事者の障害年金の等級

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 1級 | 6 | 50 |
| 2級 | 3 | 25 |
| 無回答 | 3 | 25 |
| 合計 | 12 | 100 |

図5　当事者の障害年金の等級

９．回答者（介護者）の年齢層

回答者（介護者）の年齢層について尋ねた結果、「40歳以上64歳以下」が50.0%と最も多かった。（表6、図6）

表6　回答者（介護者）の年齢層

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 40歳以上64歳以下 | 6 | 50 |
| 65歳以上74歳以下 | 5 | 41.7 |
| 無回答 | 1 | 8.3 |
| 合計 | 12 | 100 |

図6　回答者（介護者）の年齢層

１０．回答者（介護者）の健康状態

回答者（介護者）の健康状態について尋ねた結果、「少し介護に支障が出てきた」が50.0%で最も多かった。（表7、図7）

表7　回答者（介護者）の健康状態

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| まったく介護に支障はない | 1 | 8.3 |
| あまり介護に支障はない | 3 | 25 |
| 少し介護に支障がでてきた | 6 | 50 |
| とても介護に支障がある | 2 | 16.7 |
| 合計 | 12 | 100 |

図7　回答者（介護者）の健康状態

１１．回答者（介護者）の当事者に対する介護負担感

回答者（介護者）の当事者に対する介護負担感について、どの程度か尋ねた結果、以下のような回答があった。（表８、９、図８）

表８　回答者（介護者）の当事者に対する介護負担感

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | まったく負担がない | あまり負担がない | 少し負担がある | とても負担がある |
| 屋内の移動 | 3 | 4 | 2 | 3 |
| 屋外の移動 | 2 | 2 | 3 | 5 |
| 入浴 | 2 | 2 | 3 | 5 |
| 食事 | 1 | 3 | 7 | 1 |
| 排泄 | 2 | 2 | 5 | 3 |
| 機能訓練 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| レクリエーションレクリエーション・  レジャー | 2 | 2 | 5 | 1 |
| 医療 | 0 | 2 | 8 | 1 |
| その他 | 1 | 0 | 1 | 2 |

図８　回答者（介護者）の当事者に対する介護負担感

表９　その他の内容

|  |
| --- |
| ・統合失調症の症状が出たとき |
| ・休みたいのに休ませてくれる施設がほとんどない、手続きが多い |

１２．当事者を障害者の通所サービスの利用を勧めようと考えたことがあるか

ご家族として、これまでに当事者を障害者の通所サービスの利用を勧めようと考えたことがあるか尋ねた結果、「利用を考えたことはあるが、利用していない」が41.7%で最も多かった。（表10、図9）

表10　当事者を障害者の通所サービスの利用を勧めようと考えたことがあるか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 利用を考えたことはない | 2 | 16.7 |
| 利用を考えたことはあるが、利用していない | 5 | 41.7 |
| 利用を考えたことがあり以前通所していたが、今は通所していない | 3 | 25 |
| 欠損値 | 2 | 16.7 |
| 合計 | 12 | 100 |

図9　当事者を障害者の通所サービスの利用を勧めようと考えたことがあるか

１３．当事者が障害者の通所サービスを利用しなかった理由

当事者が障害者の通所サービスを利用しなかった理由について尋ねた結果、以下のような回答があった。（表11）

表11　当事者が障害者の通所サービスを利用しなかった理由

|  |
| --- |
| ・引きこもりだから |
| ・皆と一緒に食事ができなければ受け入れられないと言われた |
| ・中2から学校へ行かなくなったので最初からあきらめた |
| ・本人が行こうとしない、1～2回でやめる |

１４．当事者のこれからについて、障害者の通所サービスの利用を考えているか

ご家族として、当事者のこれからについて、障害者の通所サービスの利用を考えているかについて尋ねた結果、「利用は考えていない」が50.0%で最も多かった。（表12、図10）

表12　当事者のこれからについて、障害者の通所サービスの利用を考えているか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 利用を考えている | 5 | 41.7 |
| 利用は考えていない | 6 | 50 |
| 欠損値 | 1 | 8.3 |
| 合計 | 12 | 100 |

図10　当事者のこれからについて、障害者の通所サービスの利用を考えているか

１５．当事者の将来を考えたときの不安があるか

回答者（介護者）は、当事者の将来を考えたときに、①～⑤についてどの程度不安があるか尋ねた結果、「親なき後の生活について」とても不安があるという回答が最も多かった。（表13、14、図11）

表20　当事者の将来を考えたときに、①～⑤についてどの程度不安があるか

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | とても不安がある | 少し不安がある | あまり不安はない | まったく不安はない |
| ①親なき後の生活について | 11 | 1 | 0 | 0 |
| ②金銭面について | 4 | 6 | 2 | 0 |
| ③住む場所について | 7 | 3 | 2 | 0 |
| ④現在の通所サービスが受け続けられるかについて | 2 | 1 | 2 | 0 |
| ⑤その他 | 3 | 0 | 0 | 0 |

図20 当事者の将来を考えたときに、①～⑤についてどの程度不安があるか

表14　その他の内容

|  |
| --- |
| ・親なき後の入所施設 |
| ・病気等の変化に施設が対応してくれるか |

１６．当事者の介護で困っていること

ご家族として、当事者の介護の①～⑨について、どの程度困っているか尋ねた結果、以下のような回答があった。（表15、図12）

表15　当事者の介護の①～⑨について、どの程度困っているか

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | とても困っている | 少し困っている | あまり困っていない | 全く困っていない |
| ①屋内の移動 | 2 | 2 | 4 | 3 |
| ②屋外の移動 | 3 | 6 | 1 | 1 |
| ③入浴 | 3 | 5 | 2 | 2 |
| ④食事 | 2 | 6 | 3 | 1 |
| ⑤排泄 | 3 | 6 | 1 | 2 |
| ⑥機能訓練 | 3 | 3 | 0 | 5 |
| ⑦レクリエーションレクリエーション・レジャー | 3 | 5 | 0 | 3 |
| ⑧医療 | 4 | 4 | 3 | 0 |
| ⑨その他 | 2 | 1 | 0 | 0 |

図12　当事者の介護の①～⑨について、どの程度困っているか

表１６　その他の内容

|  |
| --- |
| ・統合失調症の症状が出るとき |

１７．ご家族として、今後、当事者にとって必要なサービスはなんだと思うか、 ①～⑫の項目について必要な程度を尋ねた結果、以下のような回答があった。（表17、図13）

表17　今後、当事者にとって必要なサービスは何か

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | とても必要 | あると良い | どちらでもない  （必要ない） |
| ①送迎 | 6 | 2 | 3 |
| ②入浴ケア | 5 | 4 | 2 |
| ③食事ケア | 5 | 4 | 2 |
| ④排泄ケア | 4 | 5 | 1 |
| ⑤機能訓練 | 3 | 5 | 3 |
| ⑥外出支援 | 8 | 2 | 1 |
| ⑦レクリエーション | 4 | 5 | 2 |
| ⑧作業内容 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨工賃 | 2 | 1 | 5 |
| ⑩建物の広さや環境 | 4 | 3 | 3 |
| ⑪職員の対応 | 6 | 2 | 1 |
| ⑫その他 | 2 | 0 | 0 |

図13　今後、当事者にとって必要なサービスは何か

表１８　その他の内容

|  |
| --- |
| ・快方に向けてのカウンセリング |
| ・自閉症の対応 |

１８．介護保険利用の有無

当事者は現在、介護保険を利用しているかについて尋ねた結果、「介護保険の対象ではない」という回答が58.3%で最も多かった。（表19、図14）

表19　介護保険利用の有無

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 利用していない | 5 | 41.7 |
| 介護保険の対象ではない | 7 | 58.3 |
| 合計 | 12 | 100 |

図14　介護保険利用の有無

１９．　当事者に今後、介護保険サービスを利用して欲しいと思うか

当事者に今後、介護保険サービスを利用して欲しいと思うか尋ねた結果、回答者のすべて（5人（41.7％））が「知らないので判断できない」と回答した。

２０．当事者に介護保険サービスを利用して欲しいと思うか

もし、介護保険サービスが使えるとしたら、当事者に介護保険サービスを利用して欲しいと思うかについて尋ねた結果、「利用して欲しいと思う」が25.0%で最も多かった。（表20、図15）

表20　当事者に介護保険サービスを利用して欲しいと思うか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 利用して欲しいと思う | 3 | 25 |
| 利用して欲しいと思わない | 1 | 8.3 |
| 知らないので判断できない | 3 | 25 |
| 欠損値 | 5 | 41.7 |
| 合計 | 12 | 100 |

図15　当事者に介護保険サービスを利用して欲しいと思うか

２１．当事者以外のご家族で、介護保険サービスを利用されている方はいるか

当事者以外のご家族で、介護保険サービスを利用されている方はいるか尋ねた結果、「利用している家族はいない」が75.0%で最も多かった。（表21、図16）

表21　当事者以外のご家族で、介護保険サービスを利用されている方はいるか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 利用している家族がいる | 2 | 16.7 |
| 利用している家族はいない | 9 | 75 |
| 欠損値 | 1 | 8.3 |
| 合計 | 12 | 100 |

図16　当事者以外のご家族で、介護保険サービスを利用されている方はいるか

２２．当事者からみた介護保険サービスを利用している家族の続柄

当事者からみた介護保険サービスを利用している家族の続柄について尋ねた結果、回答があったのは父親が1名、その他が1名であった。

２３．介護保険の具体的なサービスや種類について、どの程度知っているか

回答者（介護者）は、介護保険の具体的なサービスや種類について、どの程度知っているか尋ねた結果、以下のような回答があった。（表22、図17）

表22　介護保険の具体的なサービスや種類について、どの程度知っているか

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | よく知っている | 少し知っている | あまり知らない | 全く知らない |
| 通所介護（デイサービス）の内容 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| 訪問介護（ホームヘルプサービス）の内容 | 1 | 4 | 4 | 2 |
| 訪問入浴サービスの内容 | 2 | 3 | 5 | 2 |
| 通所リハビリ（デイケアサービス）の内容 | 2 | 2 | 4 | 3 |
| 訪問リハビリサービスの内容 | 1 | 2 | 5 | 3 |
| 訪問看護サービスの内容 | 2 | 2 | 6 | 2 |
| 福祉用具サービスの内容 | 3 | 1 | 3 | 3 |
| 短期入所（ショートステイ）サービスの内容 | 2 | 5 | 3 | 2 |
| その他 | 0 | 0 | 3 | 1 |

図17　介護保険の具体的なサービスや種類について、どの程度知っているか

２４．共生型サービスを知っているか

回答者（介護者）は共生型サービスを知っているかについて尋ねた結果、「知らない」が91.7%で最も多かった。(表23、図18)

表23　共生型サービスを知っているか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 知っている | 1 | 8.3 |
| 知らない | 11 | 91.7 |
| 合計 | 12 | 100 |

図18　共生型サービスを知っているか

２５．　福祉サービスの情報をどこで知るか

福祉サービスの情報をどこで知るかについて尋ねた結果、「障害者の手引き」が37.5%と最も多かった。（表24、図19）

表24　福祉サービスの情報をどこで知るか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答者 | % |
| 相談窓口など | 2 | 12.5 |
| 広報誌など区のお知らせ | 1 | 6.3 |
| 障害者の手引き | 6 | 37.5 |
| 区のホームページ・のーまらいふ杉並など | 1 | 6.3 |
| 病院・診療所からの情報 | 2 | 12.5 |
| サービス提供事業所からの情報 | 5 | 31.3 |
| 障害者団体からの情報 | 0 | 100 |
| 友人や知人・家族からの情報 | 4 | 25 |
| 情報を得るところがない | 3 | 18.8 |
| 保険センター・区役所 | 1 | 6.3 |
| 理解できないと思う | 1 | 6.3 |
| 合計 | 16 | 100 |

図19　福祉サービスの情報をどこで知るか